

平成29年度

農業振興地域整備計画に関するアンケート

集計結果報告書

平成30年3月

農業振興地域整備計画に関するアンケート 集計結果報告書

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査時期.....	1
4. 調査票の配布・回収状況.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 回答者の属性及び農業経営状況について.....	2
A. 居住地区.....	2
B. 男女比.....	2
C. 年齢構成.....	3
D. 農家形態.....	3
E. 耕地面積(田).....	4
F. 耕作面積(畑).....	4
G. 農業以外に従事している人数.....	5
2. 将来の経営規模および農業後継者について.....	6
A. 今後の農業経営.....	6
B. 規模拡大の時期.....	7
C. 規模拡大したい作物.....	7
D. 農地を増やす手段.....	8
E. 規模縮小の時期.....	8
F. 規模縮小の理由.....	9
G. 縮小後の農地.....	9
H. 農業後継者の有無.....	10
I. 農業後継者の年齢.....	11
3. 農作業の委託について.....	12
A. 現在の農作業の委託.....	12
B. 農作業の委託先.....	12
4. 耕作放棄地について.....	13
A. 耕作放棄地の有無.....	13
B. 耕作放棄の理由.....	13
5. 農業の将来について.....	14
A. 後継者問題の解決のために必要なこと.....	14
B. 10年後の地域農業のために必要なこと.....	15
III. まとめ.....	16

巻末資料 単純集計結果
調査票様式

I. 調査の概要

1. 調査目的

現在の農業経営の実態を把握し、今後の農業振興計画策定のための基礎資料とする。

2. 調査方法

地区農業者の代表を通じて農家各戸へ調査票を配布するとともに、調査票を郵送にて回収。
各農家の世帯主に対し、調査票への記入を依頼。

3. 調査時期

2017年8月に調査票を配布。2017年9月30日を期限として回収。

4. 調査票の配布・回収状況

調査票の配布部数、回収部数、有効回答部数等は以下のとおりである。

配布部数	5,128 部
回収部数	1,762 部
有効票の部数	1,762 部
回収率	34.4%
有効回答率	34.4%

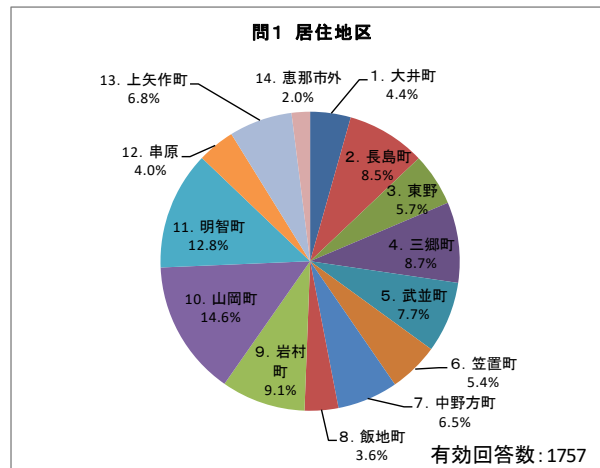
Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性及び農業経営状況について

A. 居住地区

今回のアンケートで回答を得た農家の居住地区については、山岡町、明智町が 10%を超えるが、その他の地区は 3～10%で、市内全域に分布している。

Q. あなたが住んでいる地区をお答えください

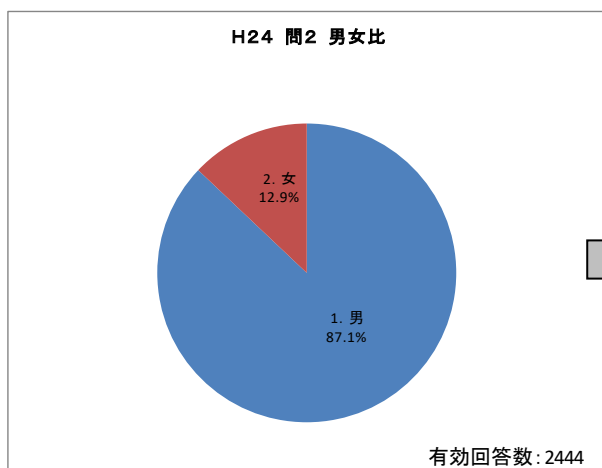


B. 男女比

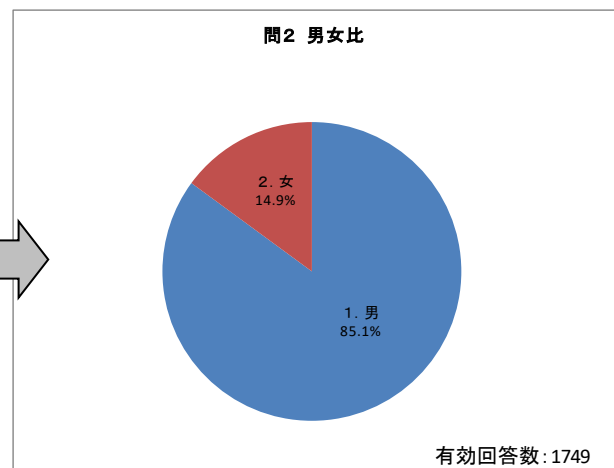
今回のアンケートの回答者(農家の世帯主)は、85.1%が男性であった。前回調査(平成 24 年度)に比べ、女性の割合が 2%増えた。

Q. あなたの性別をお答えください

前回調査(平成 24 年度)



今回調査(平成 29 年度)

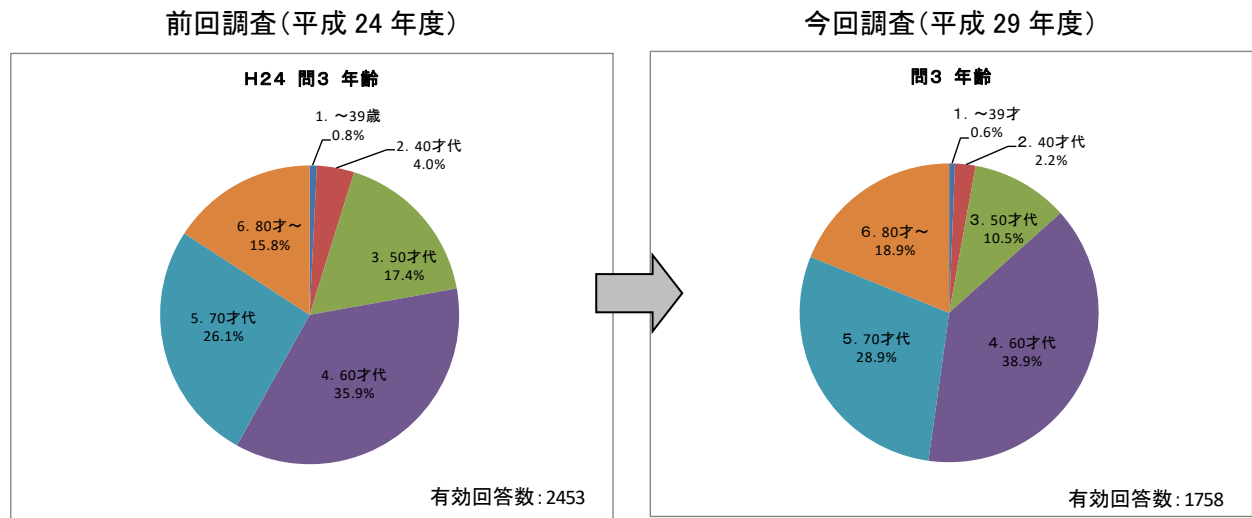


C. 年齢構成

今回調査(平成 29 年度)における農家世帯主の年齢をみると、60 歳以上が全体の 86.7%を占めている。本市の農業従事者は高齢者によって占められていることがわかる。

また、50 歳代以下の比較的若い年代が、前回調査(平成 24 年度)に比べ、8.9%減少しており、急速に高齢化が進行していることがわかる。

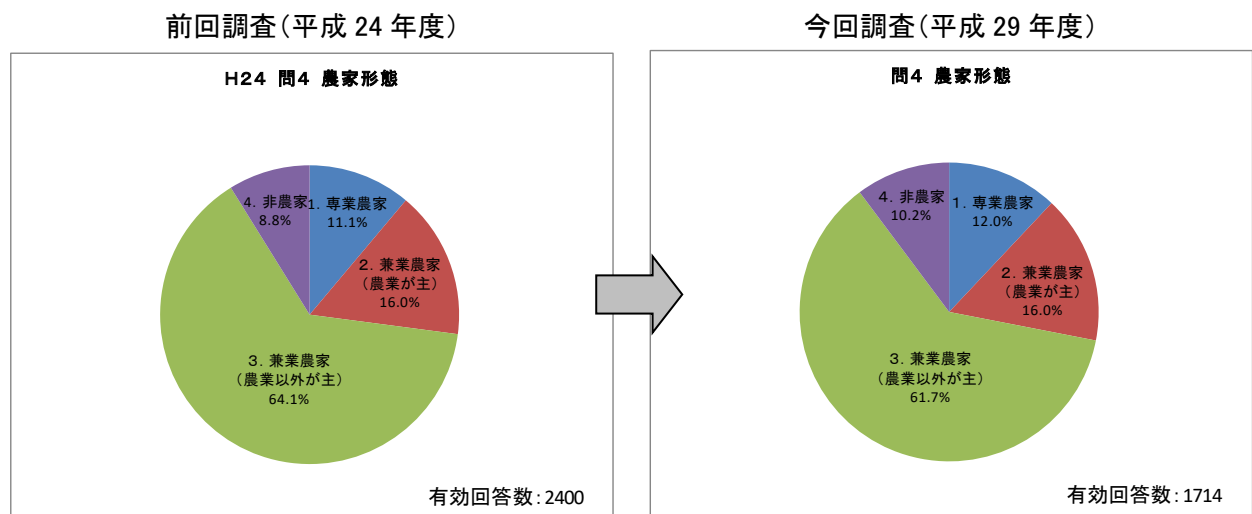
Q. あなたの年齢をお答えください



D. 農家形態

今回調査(平成 29 年度)において、農家形態は専業農家が 12.0%、第 1 種兼業農家が 16.0%であり、比較的割合が低い。一方、第2種兼業農家は 61.7%を占めており、経済的に農業への依存が大きい農家は少ないことがわかる。農家形態の構成比率は、前回調査(平成 24 年度)から大きな変化はみられない。

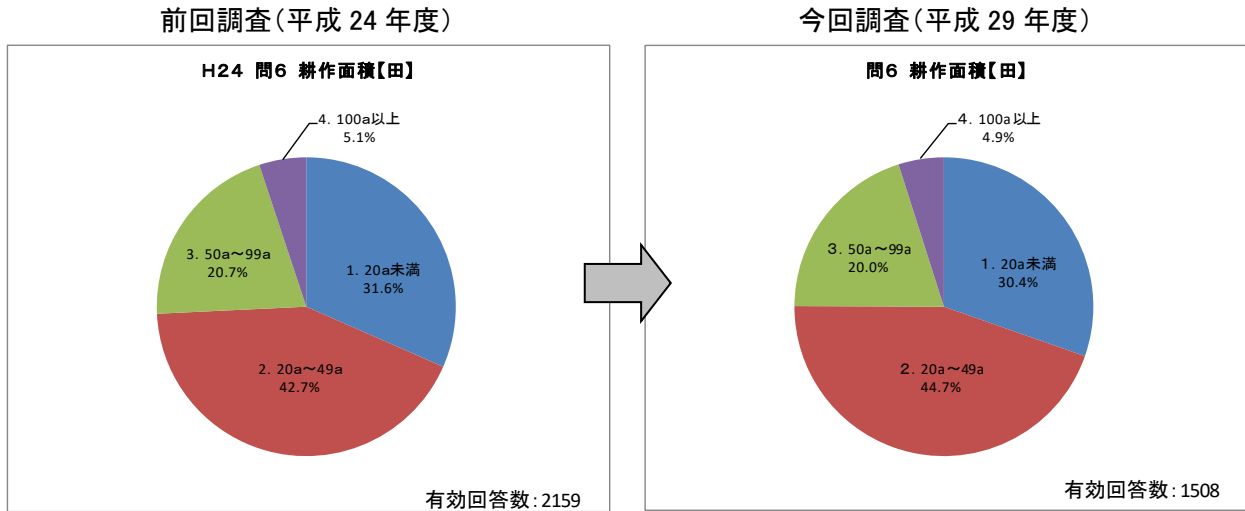
Q. あなたの世帯は、どの農家形態にあてはまりますか



E. 耕地面積(田)

今回調査(平成 29 年度)の農家の経営規模をみると、田耕作では、前回調査(平成 24 年度)と比べても顕著な違いはみられない。耕作面積が「20a～49a」である農家の割合が、わずかながら増加傾向であるが、それ以外は減少傾向である。

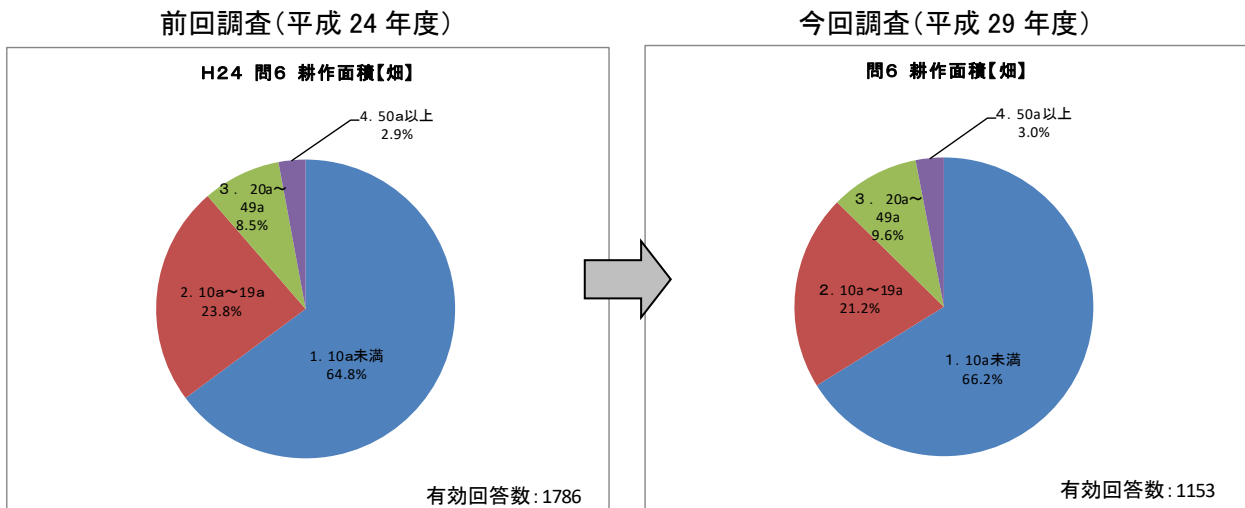
Q. 耕作している田の面積をお答えください



F. 耕作面積(畑)

農家の経営規模をみると、畑耕作でも、前回調査(平成 24 年度)と比べて顕著な違いはみられない。耕作面積が「10a～19a」である農家の割合が、わずかながら減少傾向であるが、それ以外は増加傾向である。

Q. 耕作している畑の面積をお答えください



G. 農業以外に従事している人数

農家世帯の構成員のうち、農業以外の仕事に従事している人は、会社員など日常的に勤務している人が全体の66.8%を占める。女性は、市内で従業する割合が高く、パート・アルバイトの割合が高い傾向がある。

Q. あなたを含む家族の方で、農業以外の仕事に従事している方の人数をお答えください

農業以外に従事している人数(平成29年度)

単位 上段:人 / 下段:%

雇用の形態	市内で従業している家族			市外で従業している家族			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
会社員等ほぼ毎日勤務	606 (21.6)	451 (16.1)	1,057 (37.7)	582 (20.8)	234 (8.4)	816 (29.1)	1,188 (42.4)	685 (24.4)	1,873 (66.8)
自営業	170 (6.1)	117 (4.2)	287 (10.2)	25 (0.9)	13 (0.5)	38 (1.4)	195 (7.0)	130 (4.6)	325 (11.6)
パート、アルバイト	136 (4.9)	337 (12.0)	473 (16.9)	39 (1.4)	92 (3.3)	131 (4.7)	175 (6.2)	429 (15.3)	604 (21.6)
総計	912 (32.5)	905 (32.3)	1,817 (64.8)	646 (23.1)	339 (12.1)	985 (35.2)	1,558 (55.6)	1,244 (44.4)	2,802 (100.0)

有効回答数：1398

2. 将来の経営規模および農業後継者について

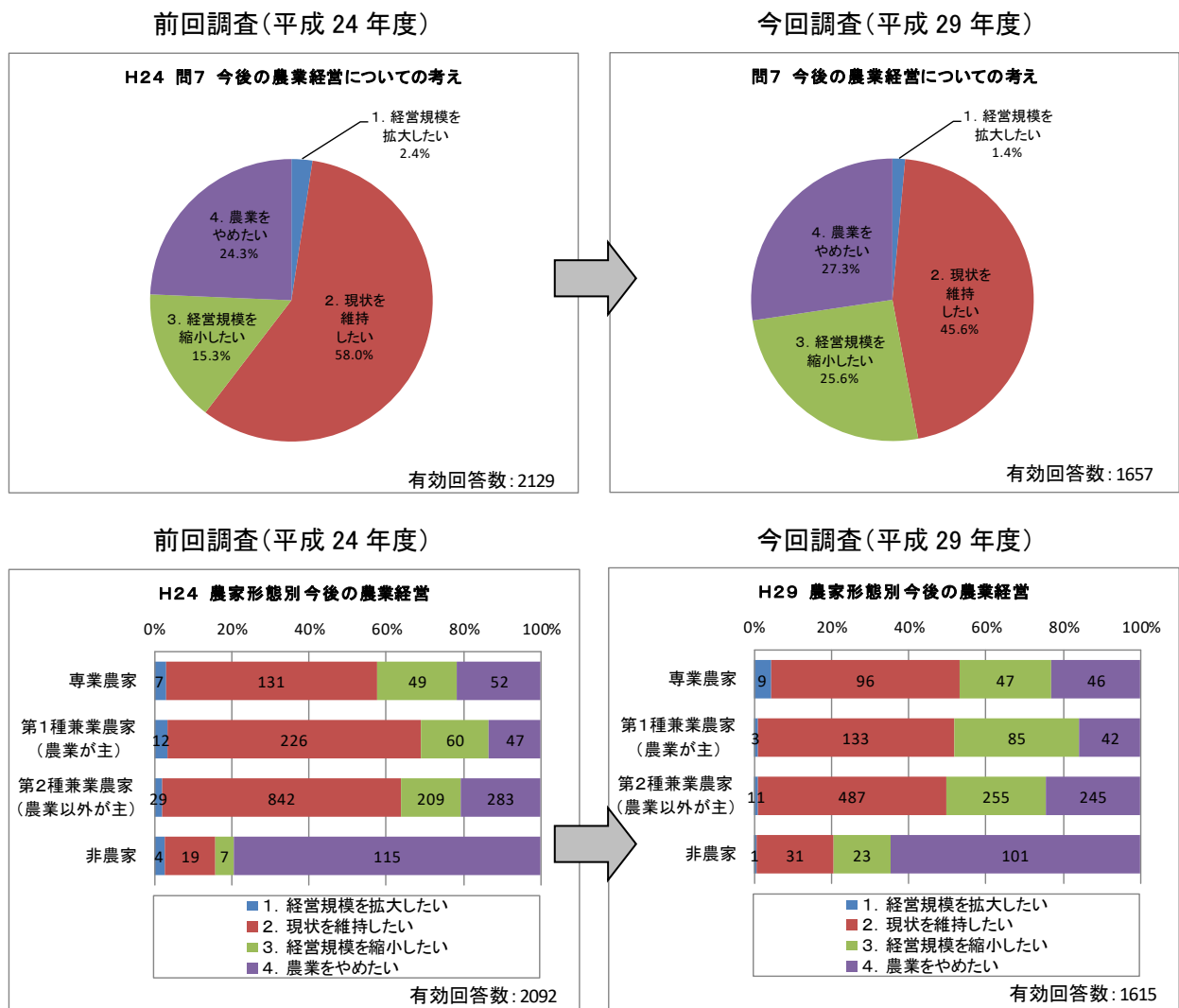
A. 今後の農業経営

今後の農業経営では、「現状を維持したい」が 45.6%を占めたが、「農業をやめたい」と「規模を縮小したい」を合わせた 52.9%を下回った。

前回調査(平成 24 年度)と比べ、「現状を維持したい」という回答が大幅に減少(12.4%減)したことに加え、もともと少なかった「規模を拡大したい」との回答は、さらに減少した。

今後の農業経営の意向について、農家形態別に集計すると、非農家では圧倒的に「農業をやめたい」及び「規模を縮小したい」の割合が高い。ただし、前回調査(平成 24 年度)と比べると、非農家では「現状を維持したい」の割合が増加している。一方、専業農家及び兼業農家においては、「現状を維持したい」は大幅に減少している。

Q. 今後の農業経営についてどのようにお考えですか



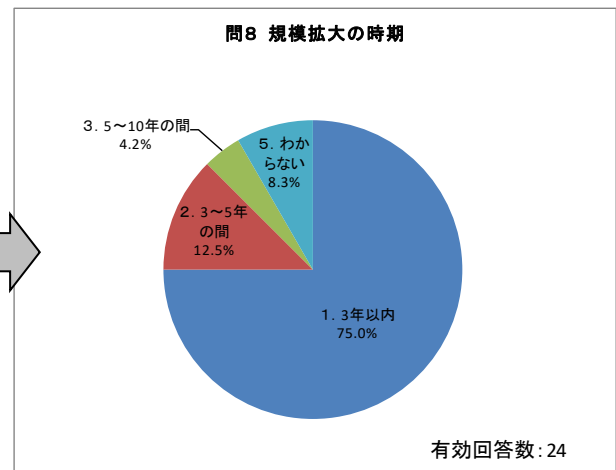
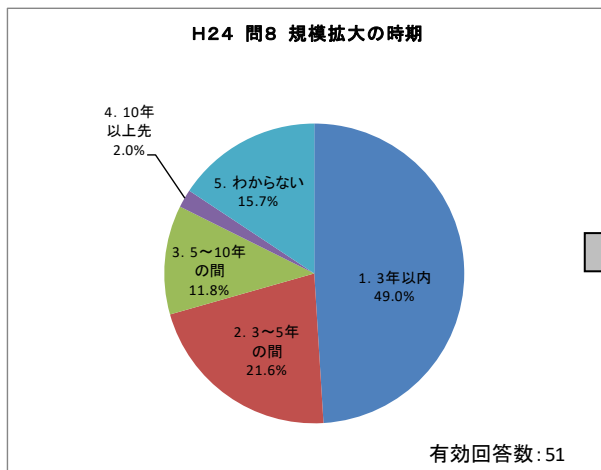
B. 規模拡大の時期

「3 年以内」という比較的近い将来に規模を拡大したいという希望を持っている農家の割合が多く、全体の 75.0%を占めている。前回調査(平成 24 年度)と比べると、「3 年以内」に規模拡大したい農家の割合は大幅に増えている(26%増)が、この設問の回答数自体が少ない(24件)ため、この傾向が市全体を代表するものであるかわからない。

Q. (「経営規模を拡大したい」と回答した方へ)その時期はいつごろですか

前回調査(平成 24 年度)

今回調査(平成 29 年度)



C. 規模拡大したい作物

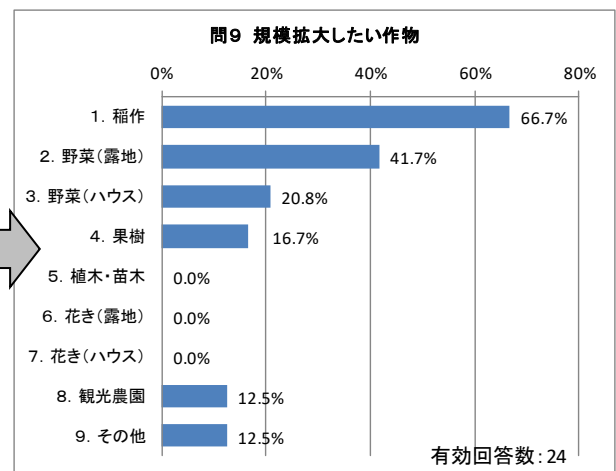
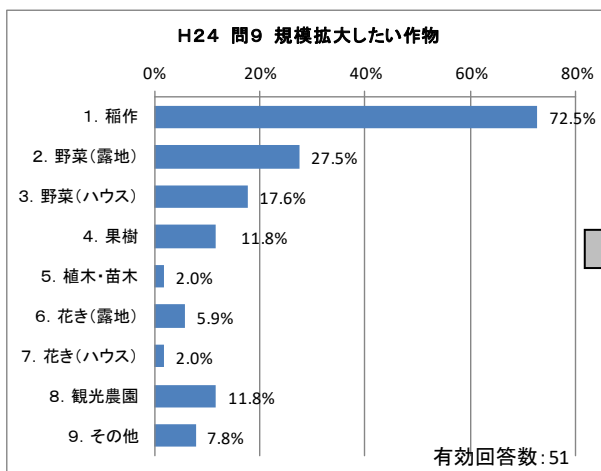
規模の拡大を考えている農家が、規模拡大の対象としている作物については、稲作が 66.7%に達し、次いで野菜、果樹、観光農園という回答になっている。

前回調査(平成 24 年度)と比べると、野菜(露地)、果樹の拡大を考えている農家に増加傾向がみられる。

Q. (「経営規模を拡大したい」と回答した方へ)主に何をやってみたいと思いますか

前回調査(平成 24 年度)

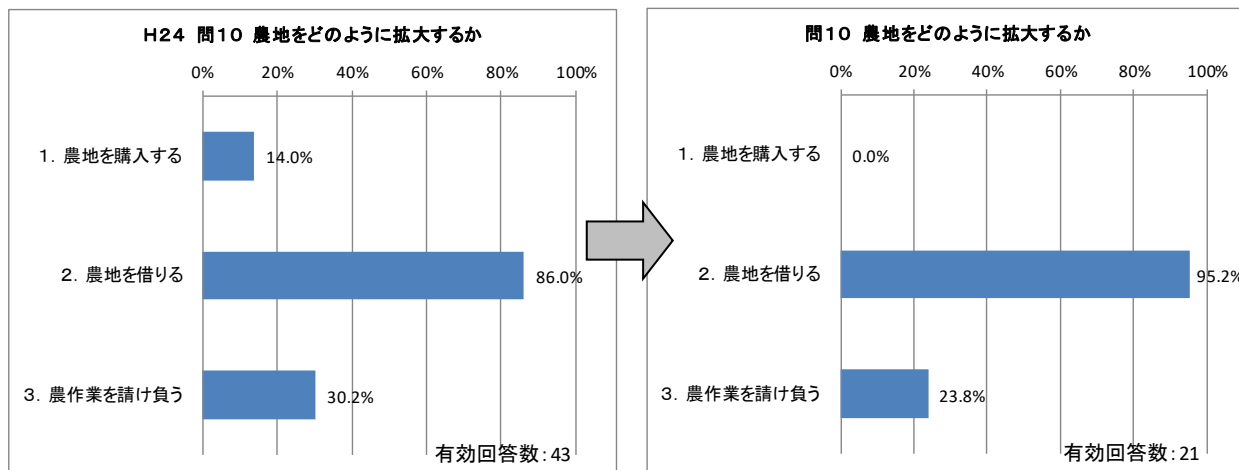
今回調査(平成 29 年度)



D. 農地を増やす手段

規模拡大に必要となる農地を増やす方法としては、「借りる」が 95.2%と圧倒的に多く、次いで「農作業を請け負う」23.8%であり、農地を「購入する」と回答した農家は皆無であった。

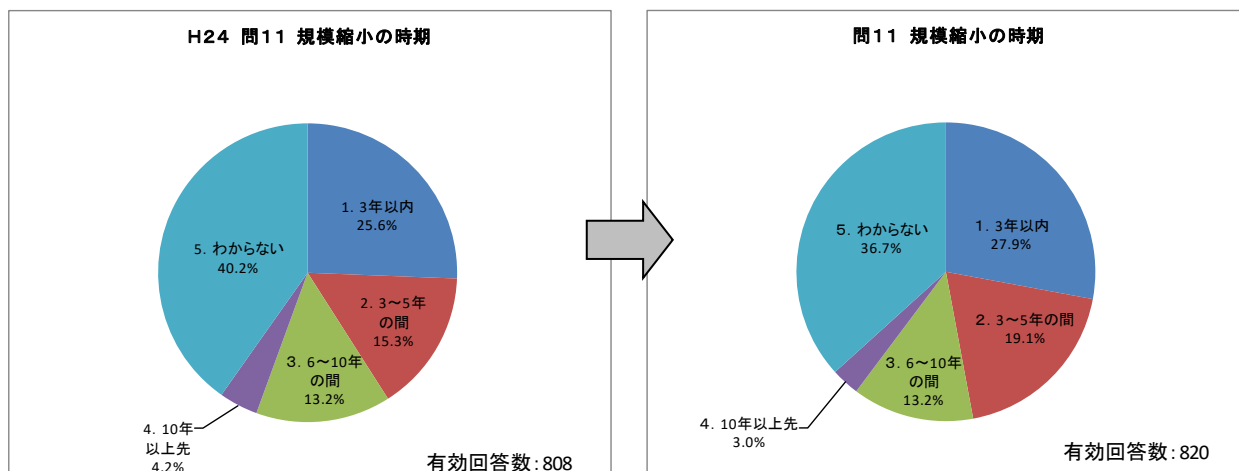
Q. (「経営規模を拡大したい」と回答した方へ) 農地はどのように増やしますか
 前回調査(平成 24 年度) 今回調査(平成 29 年度)



E. 規模縮小の時期

規模縮小の時期を「わからない」と回答した農家の割合が最も多く、全体の 36.7%を占めている。縮小の意向を持ってはいるが、具体的な時期を明確にしていないう農家が多いといえる。一方、前回調査(平成 24 年度)と比較すると、「3 年以内」及び「3~5 年の間」という比較的近い将来に規模縮小したいと回答する農家は増加(6.1%増)している。

Q. (「規模を縮小したい」「農業をやめたい」と回答した方へ) その時期はいつごろですか
 前回調査(平成 24 年度) 今回調査(平成 29 年度)

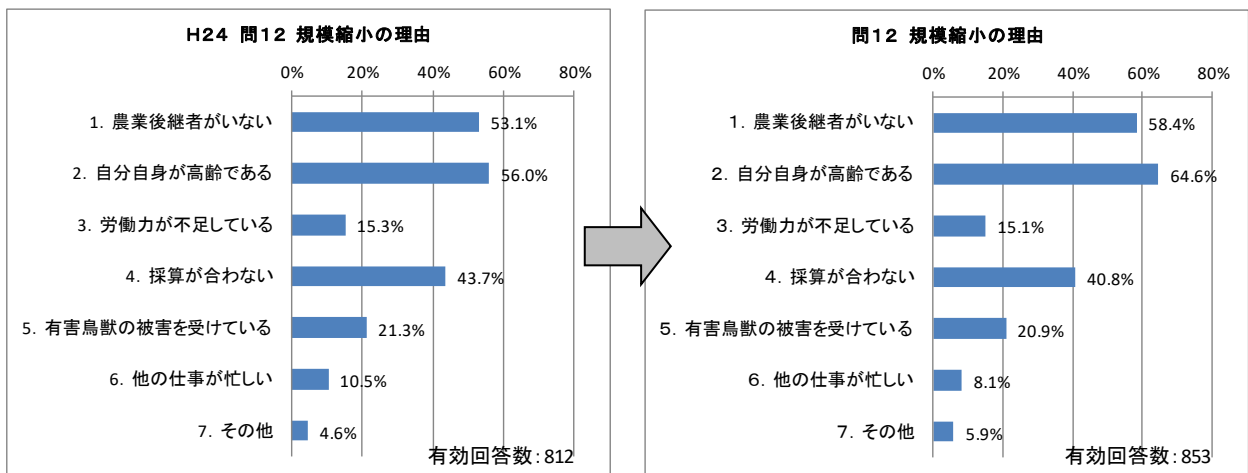


F. 規模縮小の理由

規模縮小の理由については、「自分自身が高齢である(64.6%)」といった理由に加え、「農業後継者がいない(58.4%)」ことで、現在の経営規模が維持できないと考えている農家が多いことがわかる。また、「採算が合わない(40.8%)」ことで担い手が育ちにくく、「鳥獣の被害(20.9%)」によってモチベーションの低下を招いている現状が読み取れる。

前回調査(平成 24 年度)においても同様の順位であったが、第 1 位の「自分自身が高齢である」と、第 2 位の「農業後継者がいない」の割合は、5 年前より増加傾向である。

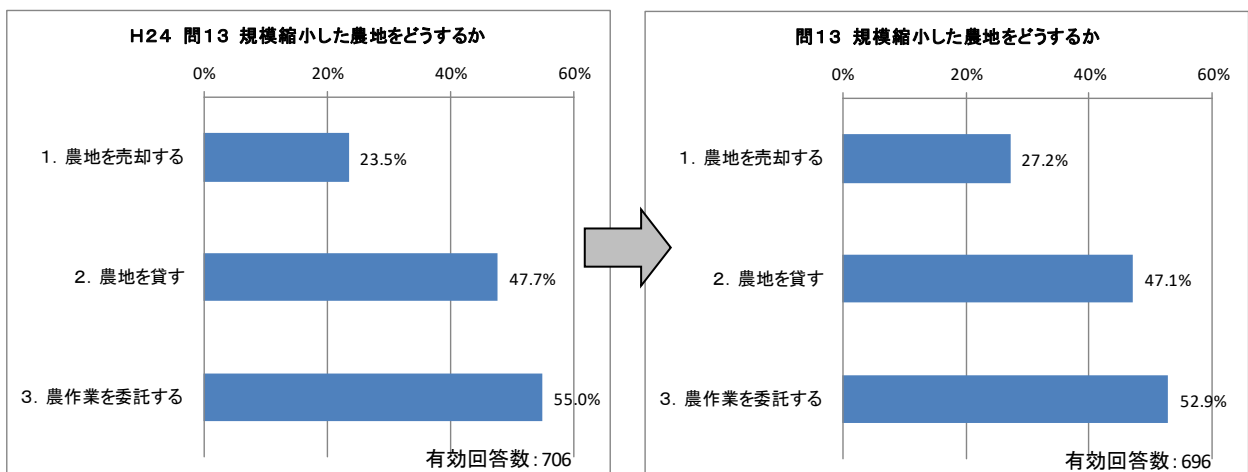
Q. (「規模を縮小したい」「農業をやめたい」と回答した方へ)その理由は何ですか
 前回調査(平成 24 年度) 今回調査(平成 29 年度)



G. 縮小後の農地

規模縮小後の農地については、「農作業を委託する」が 52.9%で最も多く、次いで「農地を貸す」が 47.1%であった。一方、「農地を売却する」との回答は 27.2%であり、このなかには非農地としての売却を考えている農家も含まれる。農地の保全に消極的な農家への対策が必要である。

Q. (「規模を縮小したい」「農業をやめたい」と回答した方へ)農地はどうされますか
 前回調査(平成 24 年度) 今回調査(平成 29 年度)



H. 農業後継者の有無

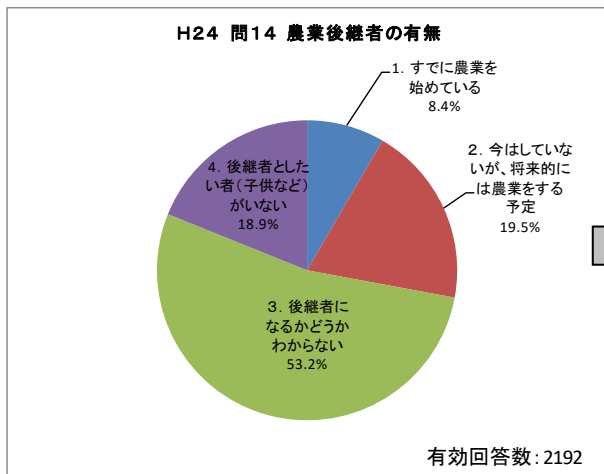
農家のうち後継者のいる農家は全体の 20.3%にとどまっており、後継者不足であることが読み取れる。

「すでに農業を始めている」または「今はしていないが、将来的には農業をする予定」との回答は、前回調査(平成 24 年度)に比べ 7.6%減少しており、将来のこの地域における農業の不安要素の一つとなっている。

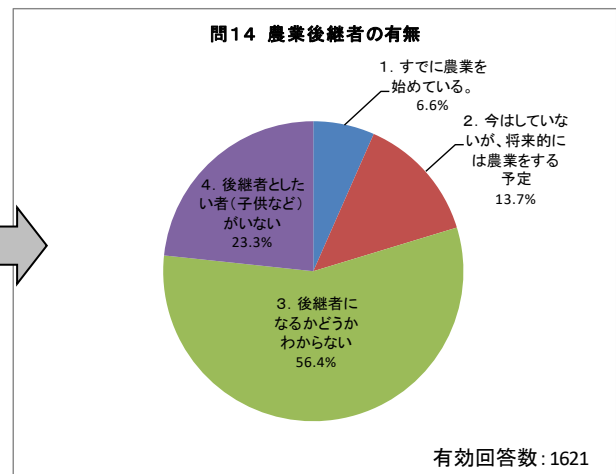
農家形態別にみると、非農家では後継者がいると回答した割合は、前回調査(平成 24 年度)に比べてわずかに増えているが、専業農家及び兼業農家では 6.2~8.5%程度減少しており、後継者不足がより深刻になっていることがわかる。

Q. 農業後継者はいますか

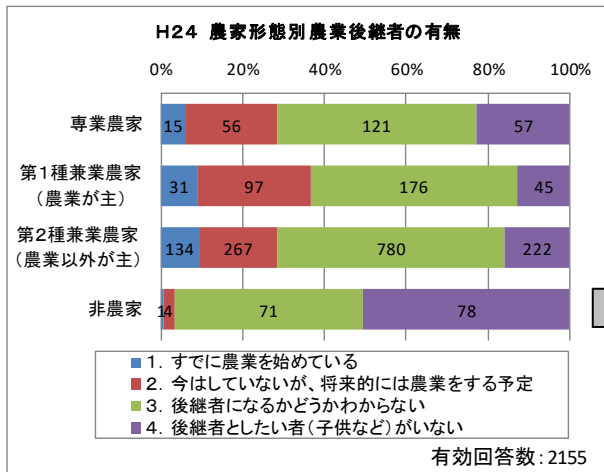
前回調査(平成 24 年度)



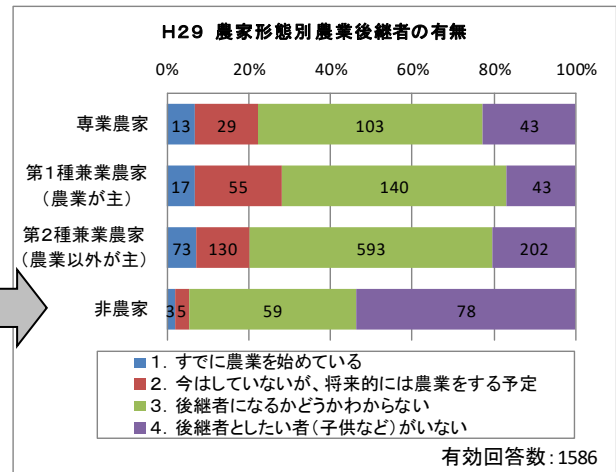
今回調査(平成 29 年度)



前回調査(平成 24 年度)



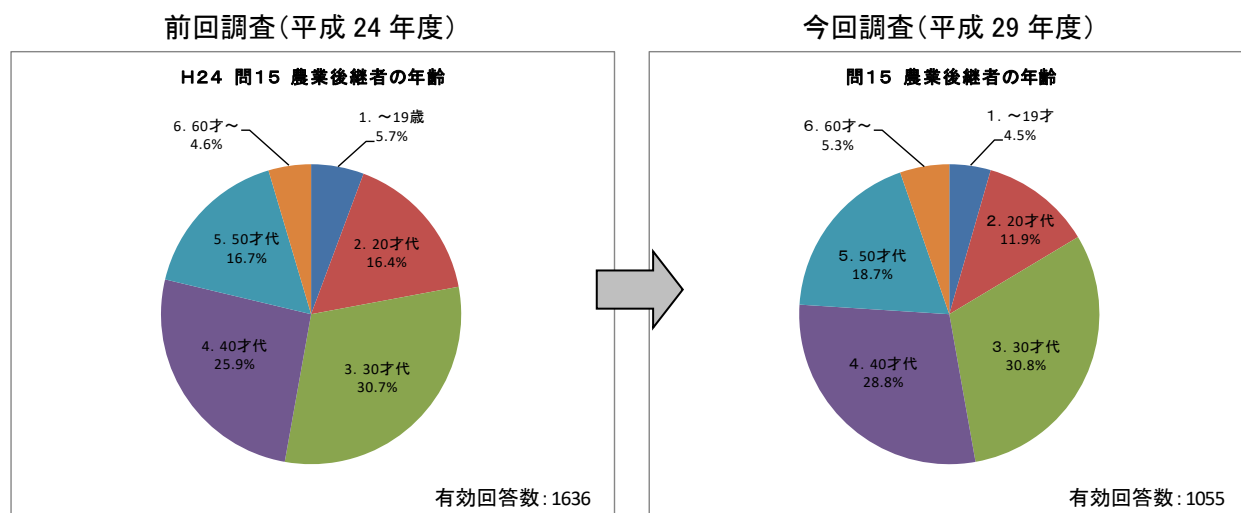
今回調査(平成 29 年度)



I. 農業後継者の年齢

農業後継者の年齢では、30歳代が30.8%で最も高く、次いで40歳代の28.8%を合わせると半数以上を占める。一方、後継者が既に50歳代以上となっている農家が24.0%存在する。これら農家では、次の世代の後継者の有無が問題となる。

Q. 農業後継者の年齢はいくつですか



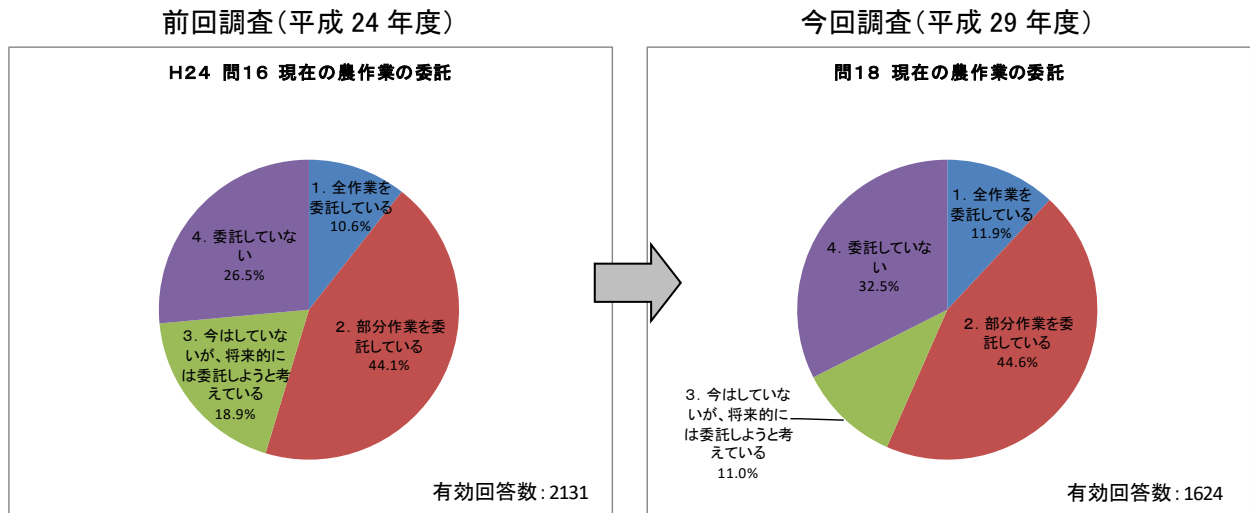
3. 農作業の委託について

A. 現在の農作業の委託

農作業の委託については、今回調査(平成 29 年度)では、「全作業を委託している」と「部分作業を委託している」の合計が 56.5%であり、前回調査(平成 24 年度)から大きな変化はみられない。

しかし、「今はしていないが、将来的には委託しようと考えている」との回答は、前回調査(平成 24 年度)から 7.9%減少し、「委託していない」との回答が 6.0%増加していることから、このままでは農作業の受委託を今後大きく拡大させることは難しくなると思われる。

Q. 現在、農作業を委託していますか

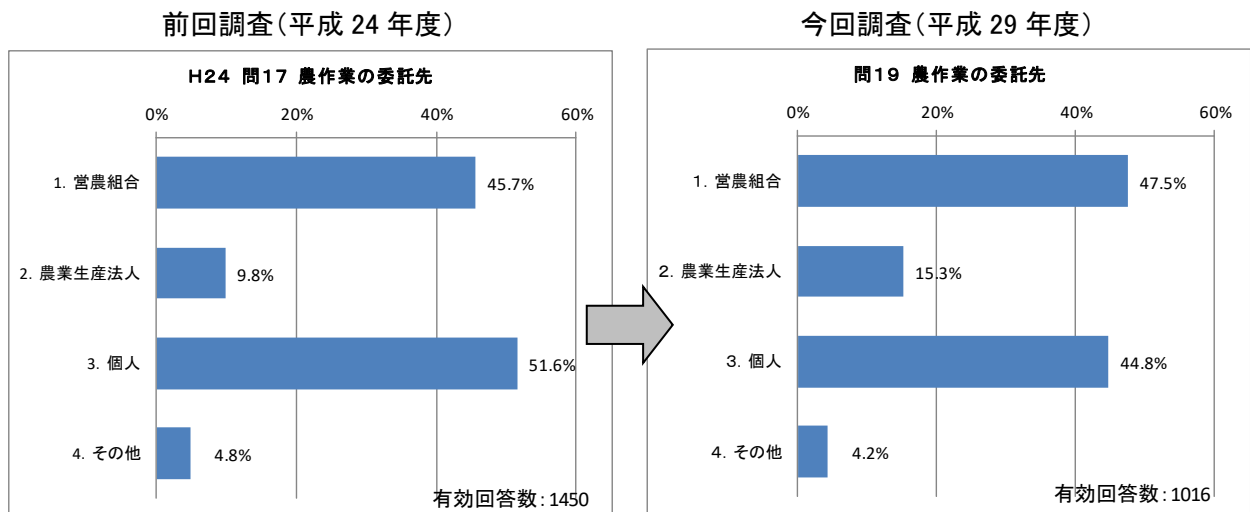


B. 農作業の委託先

農作業の委託先については、「営農組合(47.5%)」が最も多く、「個人(44.8%)」がこれに次いでいる。

前回調査(平成 24 年度)に比べ、個人への委託の割合が減り、営農組合や農業生産法人への割合が増加している。

Q. 委託している(しようと考えている)相手はどれにあたりますか



4. 耕作放棄地について

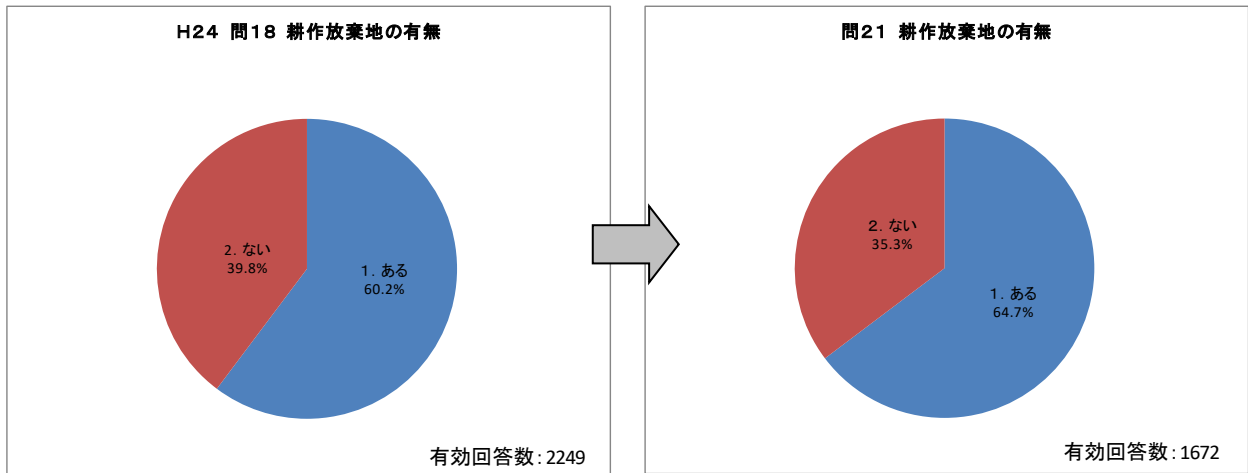
A. 耕作放棄地の有無

「耕作していない農地がある」との回答は、前回調査(平成 24 年度)では 60.2%であったのに対し、今回調査(平成 29 年度)では 64.7%であり、耕作放棄地の拡大が今でも進行していることが読みとれる。

Q. あなたが所有する農地のうち、耕作していない農地がありますか

前回調査(平成 24 年度)

今回調査(平成 29 年度)



B. 耕作放棄の理由

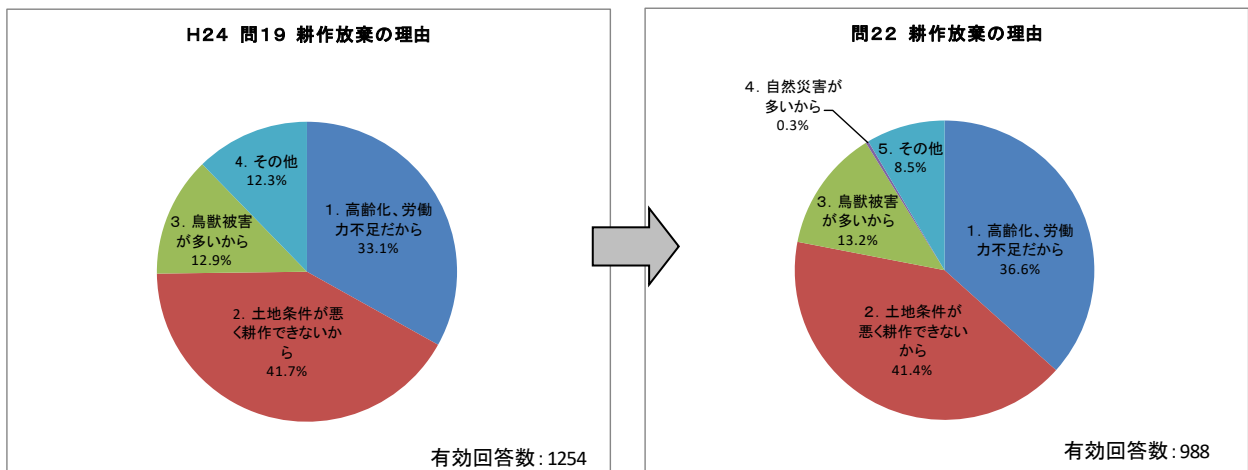
耕作を放棄した理由について、今回調査(平成 29 年度)では、「土地条件が悪く耕作できない」と「鳥獣被害が多い」を合わせると 54.6%に達し、人的要因だけでなく、農地や環境の整備不足が考えられる。その他の意見として多くみられたのは、「減反により作付けできないため」、「採算が合わない」等の回答があった。

前回調査(平成 24 年度)から大きな変化はみられないが、「高齢化、労働力不足だから」を理由に挙げる農家にわずかな増加がみられた。

Q. 耕作していない理由は何ですか

前回調査(平成 24 年度)

今回調査(平成 29 年度)

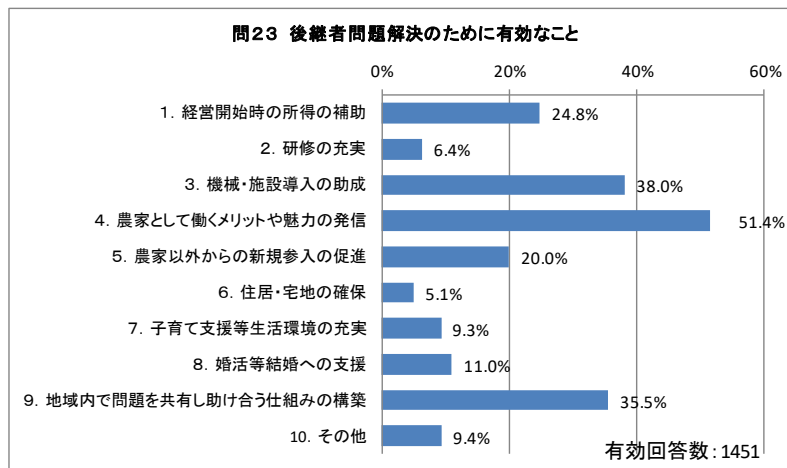


5. 農業の将来について

A. 後継者問題の解決のために必要なこと

後継者問題を解決するために有効なことは、「農家として働くメリットや魅力の発信(51.4%)」が最も多く、未来志向で農業に取り組める人材の発掘、育成の必要性を感じている農家が多いことが推察できる。次いで「機械・施設導入の助成(38.0%)」、「地域内で問題を共有し助け合う仕組みの構築(35.5%)」、「経営開始時の所得の補助(24.8%)」との回答が多かった。

Q. 後継者問題を解決するために有効なことは何だと考えますか 今回調査(平成 29 年度)

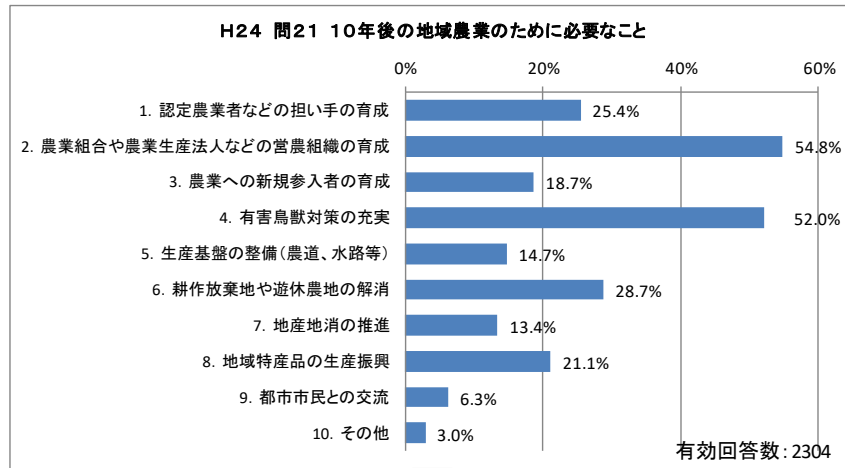


B. 10年後の地域農業のために必要なこと

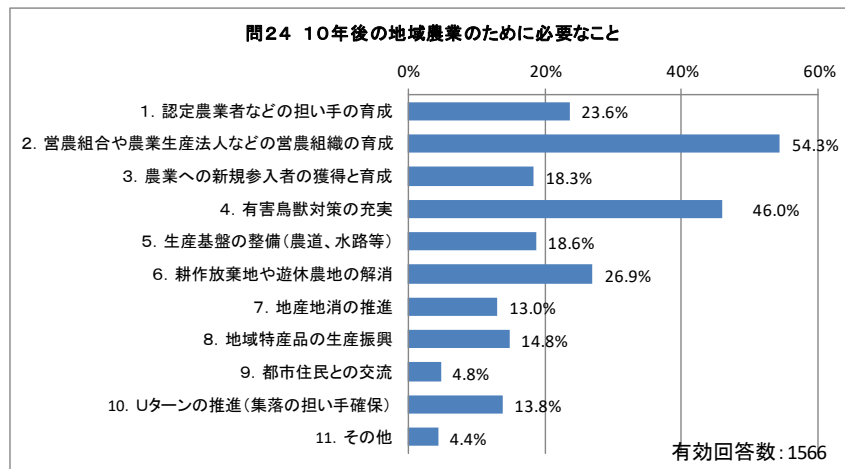
地域農業を行うために必要なことは、「営農組合や農業生産法人などの営農組織の育成(54.3%)」が最も多く、個人ではなく地域全体で農業経営を続けていくことに希望を求めている農家が多いことが推察される。また、「鳥獣害対策の充実(46.0%)」を訴える農家も多く、農業環境の改善・維持が欠かせない。

Q. あなたの地域が 10 年後も良好な地域農業を行うために必要なことは何だと考えますか

前回調査(平成 24 年度)



今回調査(平成 29 年度)



Ⅲ. まとめ

今回のアンケート調査の結果から、恵那市の農業の現状は以下のようにまとめられる。

- ・農家世帯主の年齢は、60歳以上が全体の約87%を占める。一方、60歳未満が減少し、急速に高齢化が進行している。
- ・今後の農業経営について、「現状を維持したい」が大幅に減少し、「農業をやめたい」及び「規模を縮小したい」を合わせた回答が5割を上回った。非農家では、「現状を維持したい」が増加したのに対し、専業農家及び兼業農家では大幅に減少した。
- ・「農業をやめたい」または「規模を縮小したい」という意見を持つ農家の47%は、5年以内に実施すると回答した。一方、約37%は、規模縮小または農業をやめる時期を「わからない」と回答しており、具体的な時期を明確にしていない農家も多い。
- ・後継者のいる農家は全体の20%にとどまり、後継者不足がより深刻となっている。
- ・半数以上の農家が既に農作業の全部または一部を委託しており、農作業の受委託が進んできた。しかし、「今はしていないが、将来的には委託しようと考えている」農家は減少しているため、今後、農作業の受委託を大きく拡大させることは難しくなると思われる。
- ・「耕作していない農地がある」農家の割合が今でも増えており、耕作放棄地の拡大が止まっていない。また、耕作放棄した理由として、土地条件の悪さや鳥獣被害といった農業環境の整備不足を挙げる農家が多い。

アンケートの結果から推察される今後の課題は以下のとおりである。

- ・専業農家及び兼業農家において、今後の農業経営に消極的な意見が高まっており、持続可能な地域農業経営を目指すにあたり、大きな不安要素である。
- ・農地の所有者の多くが、農地の保全に対して消極的な意見を持っており、耕作放棄地や農地転用の増加に歯止めがかかっていない。
- ・土地条件の悪さや鳥獣被害により、農業へのモチベーションの低下を招いている。
- ・市内の農地で一様に減反・転作を求められることに不満を持つ農家が存在する。
- ・太陽光発電施設など、農地以外の土地活用を望む農家が少なからず存在する。
- ・地域営農組織への農地の集約が進んできたが、条件が不利な農地については耕作放棄地になってしまっている土地がある。
- ・今後も農作業の委託は増加していく傾向にあるが、高齢化や後継者不足により、受託できるキャパシティが低下していく恐れがある。
- ・農業に対して悲観的な意見が多数を占めているが、未来志向で農業に取り組むことに期待を寄せている農家も存在する。

資 料

単純集計結果

調査票様式

農業振興地域整備計画に関するアンケート調査 単純集計結果

調査票の配布数及び回収数

配布した調査票の数量 (A)	回収した調査票の数量 (B)	有効票の総数 (C)	回収率 (B)/(A)	有効回収率 (C)/(A)
5,128	1,762	1,762	34.4%	34.4%

問1. あなたが住んでいる地区をお答えください。(1つだけ選択)

1. 大井町	2. 長島町	3. 東野	4. 三郷町	5. 武並町	6. 笠置町	7. 中野方町	
77 (4.4%)	150 (8.5%)	100 (5.7%)	153 (8.7%)	135 (7.7%)	95 (5.4%)	115 (6.5%)	
8. 飯地町	9. 岩村町	10. 山岡町	11. 明智町	12. 串原	13. 上矢作町	14. 恵那市外	総計
64 (3.6%)	160 (9.1%)	257 (14.6%)	225 (12.8%)	71 (4.0%)	120 (6.8%)	35 (2.0%)	1,757 (100.0%)

有効回答数 1,757/1,762, 有効回答率 99.7%

問2. あなたの性別をお答えください。(1つだけ選択)

1. 男	2. 女	総計
1,488 (85.1%)	261 (14.9%)	1,749 (100.0%)

有効回答数 1,749/1,762, 有効回答率 99.3%

問3. あなたの年齢をお答えください。(1つだけ選択)

1. ~39才	2. 40才代	3. 50才代	4. 60才代	5. 70才代	6. 80才~	総計
11 (0.6%)	39 (2.2%)	185 (10.5%)	683 (38.9%)	508 (28.9%)	332 (18.9%)	1,758 (100.0%)

有効回答数 1,758/1,762, 有効回答率 99.8%

問4. あなたの世帯は、以下のどの農家形態にあてはまりますか。(1つだけ選択)

1. 専業農家	2. 兼業農家 (農業が主)	3. 兼業農家 (農業以外が主)	4. 非農家	総計
206 (12.0%)	275 (16.0%)	1,058 (61.7%)	175 (10.2%)	1,714 (100.0%)

有効回答数 1,714/1,762, 有効回答率 97.3%

問5. あなたを含む家族の方で、農業以外の仕事に従事している方の人数を下欄に記入してください。

雇用の形態	市内に従業している家族		市外に従業している家族		総計
	男	女	男	女	
会社員等ほぼ毎日勤務	606(人) (21.6%)	451(人) (16.1%)	582(人) (20.8%)	234(人) (8.4%)	1,873(人) (66.8%)
自営業	170(人) (6.1%)	117(人) (4.2%)	25(人) (0.9%)	13(人) (0.5%)	325(人) (11.6%)
パート、アルバイト	136(人) (4.9%)	337(人) (12.0%)	39(人) (1.4%)	92(人) (3.3%)	604(人) (21.6%)
総計	912(人) (32.5%)	905(人) (32.3%)	646(人) (23.1%)	339(人) (12.1%)	2,802(人) (100.0%)

有効回答数 1,398/1,762, 有効回答率 79.3%

問6. 耕作している田畑の面積をお答えください。(田・畑それぞれ1つだけ選択)

【田】

1. 20a未満	2. 20a～49a	3. 50a～99a	4. 100a以上	総計
458 (30.4%)	674 (44.7%)	302 (20.0%)	74 (4.9%)	1,508 (100.0%)

有効回答数 1,508/1,762, 有効回答率 85.6%

【畑】

1. 10a未満	2. 10a～19a	3. 20a～49a	4. 50a以上	総計
763 (66.2%)	244 (21.2%)	111 (9.6%)	35 (3.0%)	1,153 (100.0%)

有効回答数 1,153/1,762, 有効回答率 65.4%

問7. 今後の農業経営についてどのようにお考えですか。(1つだけ選択)

1. 経営規模を拡大したい	2. 現状を維持したい	3. 経営規模を縮小したい	4. 農業をやめたい	総計
24 (1.4%)	756 (45.6%)	424 (25.6%)	453 (27.3%)	1,657 (100.0%)

有効回答数 1,657/1,762, 有効回答率 94.0%

問8. 問7で「1. 経営規模を拡大したい」と回答した方のみお答えください。その時期はいつごろですか。(1つだけ選択)

1. 3年以内	2. 3～5年の間	3. 5～10年の間	4. 10年以上先	5. わからない	総計
18 (75.0%)	3 (12.5%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)	24 (100.0%)

有効回答数 24/24, 有効回答率 100.0%

問9. 問7で「1. 経営規模を拡大したい」と回答した方のみお答えください。
主に何をやってみたいと思いますか。(複数回答可)

1. 稲作	2. 野菜 (露地)	3. 野菜 (ハウス)	4. 果樹	5. 植木・ 苗木
16 (66.7%)	10 (41.7%)	5 (20.8%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)
6. 花き (露地)	7. 花き (ハウス)	8. 観光農園	9. その他	
0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	

有効回答数 24/24, 有効回答率 100.0%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問9「9.その他」と回答した方の自由記述欄
三郷町	女・60才代	自然薯
中野方町	男・60才代	麦、大豆
中野方町	男・60才代	はち植えの販売、その他苗木

問10. 問7で「1. 経営規模を拡大したい」と回答した方のみお答えください。
農地はどのように増やしますか。(複数回答可)

1. 農地を 購入する	2. 農地を 借りる	3. 農作業を 請け負う
0 (0.0%)	20 (95.2%)	5 (23.8%)

有効回答数 21/24, 有効回答率 87.5%

問11. 問7で「3.規模を縮小したい」「4.農業をやめたい」と回答した方のみお答えください。
その時期はいつごろですか。(1つだけ選択)

1. 3年以内	2. 3~5年 の間	3. 6~10年 の間	4. 10年 以上先	5. わからない	総計
229 (27.9%)	157 (19.1%)	108 (13.2%)	25 (3.0%)	301 (36.7%)	820 (100.0%)

有効回答数 820/877, 有効回答率 93.5%

問12. 問7で「3.規模を縮小したい」「4.農業をやめたい」と回答した方のみお答えください。
その理由は何ですか。(3つ以内で選択)

1. 農業後継者 がいない	2. 自分自身が 高齢である	3. 労働力が不 足している	4. 採算が合わ ない	5. 有害鳥獣の 被害を受けて いる	6. 他の仕事が 忙しい	7. その他
498 (58.4%)	551 (64.6%)	129 (15.1%)	348 (40.8%)	178 (20.9%)	69 (8.1%)	50 (5.9%)

有効回答数 853/877, 有効回答率 97.3%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問12「7.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・60才代	水ほか環境悪化
大井町	男・60才代	まわりに家が多い
大井町	男・60才代	中央新幹線の線路に掛かる為に
大井町	女・60才代	現状も荒れ放題。労力がない。
大井町	女・70才代	自家用だけである
長島町	男・50才代	農業に対する知識がない
長島町	男・60才代	水源がなし
長島町	男・60才代	農地が遠い
長島町	男・60才代	区画整理で田がなくなった
長島町	男・60才代	水がない
長島町	男・70才代	体調不良でやられてなくなってしまった
長島町	男・70才代	利用権の期限切れ(農地返済)
長島町	男・80才～	イノシシ
長島町	男・80才～	水がわるい
長島町	女・70才代	長男がいても農業はいやと言っている
長島町	女・70才代	病気のため
東野	男・70才代	病気になったため
東野	女・70才代	高齢だから
東野	女・70才代	子供が遠方在住なのでわからない
東野	女・80才～	現在近所の方に耕作をお願いしているが、それも無理になってきている。
笠置町	男・60才代	障害者になってしまった為
笠置町	男・80才～	老人世帯
笠置町	男・80才～	機械等経費の増大と赤字
中野方町	男・60才代	農地果樹園(栗)が岩石だらけで管理が大変
岩村町	男・70才代	他の仕事がしたい
岩村町	男・70才代	後継者の配偶者病弱の為、農業後継無理と判断
岩村町	女・70才代	田植、耕■刈取等にお金が大変で赤字経営にやる気を失う
岩村町	女・70才代	後継者がいてもやらないと云う
山岡町	男・60才代	体調不良
山岡町	男・70才代	自給自足程度の規模にしたい
山岡町	男・70才代	鳥獣被害を受けてしまう
山岡町	男・80才～	老齢
山岡町	女・80才～	頼む人が無い
明智町	男・50才代	体に障害がある
明智町	男・60才代	現在すでに全く行っていない。近所の方に使っている
明智町	男・60才代	農業、農村の将来に期待が持てない。
明智町	男・60才代	自分は農業の経験がない
明智町	男・70才代	日照時間不足
明智町	女・60才代	私67才ですが、夫が病気の為、手がかかり子供が1人ではやらないと言います。現に腰を痛めてしまい、もうちょっとしか出来ないと思います。
明智町	女・60才代	他県より交通費が出費。農野菜を買いに行けない。
明智町	女・80才～	現在、田は休耕。草刈りを頼んでいる状態。
串原	男・60才代	体に障害がある
串原	女・60才代	体が丈夫でない。通院中
上矢作町	男・60才代	体調が悪い
恵那市外	男・50才代	現在の生活基盤が遠方で管理が困難であるため
恵那市外	男・70才代	自分自身農業をやる気はない
恵那市外	女・40才代	名古屋に住んでいるので耕作出来ない

問13. 問7で「3.規模を縮小したい」「4.農業をやめたい」と回答した方のみお答えください。
農地はどうされますか。(複数回答可)

1. 農地を売却する	2. 農地を貸す	3. 農作業を委託する
189 (27.2%)	328 (47.1%)	368 (52.9%)

有効回答数 696/877, 有効回答率 79.4%

問14. 農業後継者はいますか。(1つだけ選択)

1. すでに農業を始めている	2. 今はしていないが、将来的には農業をする予定	3. 後継者になるかどうかわからない	4. 後継者としていない者(子供など)がいない	総計
107 (6.6%)	222 (13.7%)	914 (56.4%)	378 (23.3%)	1,621 (100.0%)

有効回答数 1,621/1,762, 有効回答率 92.0%

問15. 農業後継者の年齢はいくつですか。(1つだけ選択)

1. ~19才	2. 20才代	3. 30才代	4. 40才代	5. 50才代	6. 60才~	総計
47 (4.5%)	126 (11.9%)	325 (30.8%)	304 (28.8%)	197 (18.7%)	56 (5.3%)	1,055 (100.0%)

有効回答数 1,055/1,243, 有効回答率 84.9%

問16. 現在、作られた農作物をどのように販売・消費していますか。
内訳を%(パーセント)で記入してください。(合計が100%になるように)

1. JAへ出荷	2. 直売所へ出荷	3. 直販(消費者・店舗等へ直接配送)	4. 自家消費(販売せずに自宅等で消費)	5. 廃棄	6. その他	総計
17.6%	3.4%	13.9%	57.5%	1.2%	6.5%	100.0%

有効回答数 1,442/1,762, 有効回答率 81.8%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問16「6.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・60才代	人にあげる
大井町	男・60才代	子供、親戚等へ無償で配る。
大井町	男・60才代	市場
大井町	男・60才代	近所知人に配る
大井町	男・60才代	地主消費
大井町	男・70才代	贈り物(もらってもらう)
大井町	男・80才~	作付してない
長島町	男・70才代	東濃東地方卸売市場
長島町	男・80才~	施設や近所の方に無償提供
長島町	女・50才代	知り合いの人などにあげる
長島町	女・80才~	農作業を委託した方へ
東野	男・~39才	卸売市場

町名	性別・年齢	問16 「6.その他」と回答した方の自由記述欄
東野	男・50才代	親族に提供
東野	男・60才代	贈答
東野	男・60才代	親族に
東野	男・60才代	親戚等
東野	男・60才代	市場(地場)
東野	男・70才代	他人に無償提供
東野	男・70才代	委託
東野	男・80才～	無償で他人に送る
東野	女・70才代	知人にあげる等
三郷町	男・50才代	採種組合
三郷町	男・50才代	米麦改良協会(米の種子)
三郷町	男・50才代	採種組合
三郷町	男・50才代	全てやめた
三郷町	男・60才代	農地を貸している
三郷町	男・60才代	他人・親戚へあげる
三郷町	男・60才代	貸田
三郷町	男・60才代	外部に委託
三郷町	男・60才代	子
三郷町	男・60才代	種もみ
三郷町	男・60才代	知人
三郷町	男・70才代	子供が持って行く
三郷町	男・70才代	兄弟など
三郷町	男・70才代	米業者
武並町	男・50才代	民田農園行
武並町	男・50才代	友人知人へ無償
武並町	男・50才代	営農組合委託
武並町	男・60才代	子供へ
武並町	男・60才代	兄弟に分けている
武並町	男・70才代	親戚、知人
武並町	男・80才～	JA出荷
武並町	男・80才～	子供達に
武並町	女・60才代	農地を貸している
武並町	女・70才代	子供へ(米)
笠置町	男・60才代	委託先へ
笠置町	男・60才代	自己管理
笠置町	男・60才代	企業の契約栽培
笠置町	男・60才代	嫁に出した子供
笠置町	男・60才代	転作(飼料用米)
笠置町	男・60才代	親戚、子供他
笠置町	男・80才～	生産組合
笠置町	女・60才代	無料配布
笠置町	女・70才代	姉、弟にやる
中野方町	男・40才代	委託
中野方町	男・50才代	委託して飼料米生産。その後どこで消費されているか知りません
中野方町	男・50才代	アグリアシスト
中野方町	男・60才代	親近者にあげる
中野方町	男・60才代	契約農家ですのでメーカーへ卸す

町名	性別・年齢	問16 「6.その他」と回答した方の自由記述欄
中野方町	男・60才代	子供へ
中野方町	男・60才代	親せき
中野方町	男・70才代	子供(2家族)
中野方町	女・60才代	子供達が持っていく
飯地町	男・60才代	近所にあげる
飯地町	男・60才代	縁故(子供、兄弟)
飯地町	男・70才代	子供たちにやる
飯地町	女・60才代	親せき、知り合い
飯地町	女・70才代	身内に
岩村町	男・60才代	知人にあげる
岩村町	男・60才代	営農
岩村町	男・60才代	知人にゆずる
岩村町	男・70才代	営農に委託
岩村町	男・70才代	後継者と兄弟等に届けている
岩村町	男・70才代	子供、兄弟
岩村町	男・80才～	営農組合へ委託している
岩村町	女・60才代	人にあげる
岩村町	女・70才代	子どもや知り合いに
岩村町	女・80才～	知り合いに出す
山岡町	男・60才代	親戚に配布
山岡町	男・60才代	営農組合に貸地
山岡町	男・60才代	知人等に提供
山岡町	男・60才代	子孫へ送る
山岡町	男・70才代	知人に食べてもらう
山岡町	男・70才代	加工直売
山岡町	男・70才代	親せき友人にあげる
山岡町	男・70才代	利用商店に販売
山岡町	男・70才代	委託先に一任
山岡町	男・80才～	処分
山岡町	女・60才代	他人や知人にあげる
山岡町	女・60才代	作っていない
山岡町	女・70才代	道の駅
明智町	男・50才代	今年から自家販売
明智町	男・60才代	近所の方に畑を使って頂いている
明智町	男・60才代	近所の人へ配る
明智町	男・60才代	みんなにあげている
明智町	男・60才代	知人に配る
明智町	男・60才代	他人にあげる
明智町	男・60才代	親戚や知人に配る
明智町	男・70才代	全作業を委託
明智町	男・70才代	友人知人にあげる
明智町	男・70才代	知人や友人
明智町	男・80才～	皆様にあげる
明智町	女・60才代	安く親類へ販売
明智町	女・60才代	親戚にあげる
明智町	女・70才代	身内等
明智町	女・80才～	委託者にまかせている

町名	性別・年齢	問16 「6.その他」と回答した方の自由記述欄
串原	男・60才代	親族等に配布
串原	男・60才代	イノシシ等被害
串原	男・70才代	親戚、知人に分配
串原	男・80才～	知人にあげる
串原	男・80才～	串原小中学生、保育園、ひよこらぶに配る
串原	男・80才～	親戚に配る
上矢作町	男・50才代	家族に渡す
上矢作町	男・60才代	子供
上矢作町	男・60才代	買い取り業者
上矢作町	男・60才代	贈答用に使用他
上矢作町	男・60才代	知人にあげる
上矢作町	男・70才代	野菜
上矢作町	男・70才代	親戚にあげる
上矢作町	男・70才代	贈答
上矢作町	男・80才～	他者に利用してもらう
上矢作町	男・80才～	贈り物
上矢作町	女・80才～	親類縁者配布
恵那市外	男・50才代	近隣者に農地を貸与しているため不明
恵那市外	男・60才代	営農組合へ委託
恵那市外	男・60才代	親類へ
恵那市外	男・60才代	父が病気になって今はほとんど作っていないので
恵那市外	女・80才～	全委託

問17. 市等から新たな販路拡大の支援策(集荷の支援、ネット販売の支援等)があった場合、
 どのようにお考えですか。(1つだけ選択)

1. 活用し、販路・消費先を拡大したい	2. 活用しようと思わない(現状を維持したい)	3. その他	総計
367 (26.2%)	963 (68.8%)	69 (4.9%)	1,399 (100.0%)

有効回答数 1,399/1,762, 有効回答率 79.4%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問17 「3.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・50才代	JAより高く出荷できれば、どんな方法でも良い。
大井町	女・60才代	少量のため必要はない
大井町	女・80才～	荒廃させないように考える
長島町	男・50才代	わからない
長島町	男・80才～	農業廃止
長島町	女・80才～	荷作り等手不足
東野	男・50才代	支援策等の詳細を調べてから考える
東野	男・60才代	気力がない
東野	女・70才代	作ったとしても家で消費するのみ
三郷町	男・50才代	小農地のため
三郷町	男・60才代	農業を今後努力しようとは思わない。
三郷町	男・60才代	価格による

町名	性別・年齢	問17 「3.その他」と回答した方の自由記述欄
三郷町	男・80才～	分らない
三郷町	男・80才～	供給ができるかどうか不明
三郷町	女・40才代	年なのでなにもできない
三郷町	女・80才～	田畑はあるが人手不足。労力不足のためとにかく農作業収穫はなし。
武並町	男・60才代	現状維持から荒地になってしまうと思う。
武並町	女・70才代	減少して行きたい
笠置町	男・60才代	農業をやめたい(高齢の為)
中野方町	男・50才代	農業をやめる事を考えている
飯地町	男・60才代	農作業が出来ない
飯地町	男・70才代	わからない
岩村町	男・50才代	わからない
岩村町	男・60才代	わからない
岩村町	男・60才代	おんさい工房を活用したい
岩村町	女・80才～	ありえない
山岡町	男・60才代	販売する量がない
山岡町	男・60才代	活用したいのはやまやま。現状の数量が限界です。
山岡町	男・70才代	野菜を少し(自宅用)で作っているだけ
山岡町	男・70才代	高年
山岡町	男・70才代	現在は未定
山岡町	男・80才～	耕作費用が高く希望がもてない
山岡町	男・80才～	高齢で独居の為、防草シートを被せたい(畑)
山岡町	男・80才～	わからない
山岡町	女・70才代	わからない
明智町	男・50才代	高齢である事及び価格面でムリ
明智町	男・60才代	売価金額による
明智町	男・60才代	活用したい人に農地を売却する。
明智町	男・60才代	わからない
明智町	男・70才代	作っていない
明智町	男・70才代	自家消費だけあればいい
明智町	女・70才代	しない
明智町	女・80才～	採種
明智町	女・80才～	拡大はしたいが独自の方法で
串原	男・80才～	現状で良い
上矢作町	男・50才代	できるだけ縮小したい
上矢作町	男・70才代	別に考えていない
上矢作町	男・70才代	農地の売却
上矢作町	男・70才代	わからない
上矢作町	男・80才～	少量でも引き取ってくれる集荷場があれば利用できる。
上矢作町	女・50才代	作付しない
恵那市外	男・50才代	何も作っていない
恵那市外	男・50才代	JAの米価より高ければ活用したい(玄米)

「1. 活用し、販路・消費先を拡大したい」と回答した方
具体的な拡大先に○をつけてください。

a. ネット販売	b. 卸売市場	c. 飲食店	d. 直売所	e. その他
100 (27.2%)	42 (11.4%)	43 (11.7%)	156 (42.5%)	32 (8.7%)

有効回答数 348/367, 有効回答率 94.8%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問17で「1. 活用し、販路・消費先を拡大したい」と回答し、かつ具体的な拡大先を「e. その他」と回答した方の自由記述欄
長島町	男・40才代	食品加工会社
東野	男・40才代	ブランド化しなきゃムリ。消費者がどうしたらほしくなるか？
三郷町	男・60才代	種子
三郷町	女・60才代	デパート(高島屋・JR)、キヨスク、料亭(ホテル・レストラン)への直接販売
中野方町	男・60才代	直接販売。ただし余りそうなら。
中野方町	男・70才代	米が残らない
中野方町	女・60才代	高齢でやめる。
飯地町	男・60才代	販売数の確定した所
飯地町	男・70才代	JA
飯地町	女・80才～	貸地
岩村町	男・50才代	市の仲介による直販
岩村町	女・70才代	どこでもいいのでもっと高価で買ってほしい。JAは安い。
山岡町	男・50才代	個人
山岡町	男・70才代	労働力及び採算が合わない
明智町	男・80才～	集荷してもらわなければだめ
明智町	女・60才代	変わらない
不明	男・60才代	直接取引

問18. 現在、農作業を委託していますか。(1つだけ選択)

1. 全作業を委託している	2. 部分作業を委託している	3. 今はしていないが、将来的には委託しようと考えている	4. 委託していない	総計
194 (11.9%)	725 (44.6%)	178 (11.0%)	527 (32.5%)	1,624 (100.0%)

有効回答数 1,624/1,762, 有効回答率 92.2%

問19. 問18で「1.全作業を委託している」「2.部分作業を委託している」「3.今はしていないが、将来的には委託しようと考えている」と回答した方のみお答えください。
委託している(しようと考えている)相手はどれにあたりますか。(複数回答可)

1. 営農組合	2. 農業生産法人	3. 個人	4. その他
483 (47.5%)	155 (15.3%)	455 (44.8%)	43 (4.2%)

有効回答数 1,016/1,097, 有効回答率 92.6%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問19「4.その他」と回答した方の自由記述欄
長島町	男・40才代	JA
長島町	男・60才代	営農組合
長島町	男・60才代	プロ
長島町	男・70才代	樋田建設
長島町	男・70才代	農協
東野	男・50才代	親族の協力
東野	男・60才代	今は特になし
東野	女・70才代	全作業を委託したい
三郷町	男・50才代	共同機械グループ
三郷町	男・60才代	荒地を管理して頂けるなら誰でも良い

町名	性別・年齢	問19「4.その他」と回答した方の自由記述欄
三郷町	男・60才代	JA(モミ処理)
三郷町	男・60才代	JA
三郷町	女・60才代	セントラル建設
三郷町	女・80才～	営農組合石田広高
武並町	男・60才代	農協
笠置町	男・50才代	業者
笠置町	男・60才代	土建業者へ委託
笠置町	女・80才～	シルバー(草刈等)
中野方町	女・70才代	まだ分からない
飯地町	男・70才代	JA
岩村町	男・40才代	やってくださるならだれでも
岩村町	男・60才代	ハッソーライス事業部
岩村町	男・60才代	考えていない
山岡町	男・60才代	ハッソーライス
山岡町	男・60才代	JA育苗センター
山岡町	男・70才代	シルバー
明智町	男・60才代	地元で営農組合が出来れば将来委託することも考えたい
明智町	男・70才代	鈴木ライスサービス
串原	男・50才代	企業
上矢作町	男・70才代	わからない
上矢作町	男・70才代	JA
恵那市外	男・80才～	シルバー
不明	男・60才代	会社

問20. 現在、市では、地産地消を推進するため、市内で学校給食に市内産11品目の農産物を納入した方への助成を行っています(恵那市学校給食地産地消推進事業)。
この制度を知っていますか。また活用についてどのようにお考えですか。(1つだけ選択)

1. 知っているし、活用している(活用していた)	2. 知らないが、今後活用してみたい	3. 知っているが、今後も活用しようと思わない	4. 知らないし、今後も活用しようと思わない	総計
36 (2.3%)	288 (18.8%)	343 (22.3%)	868 (56.5%)	1,535 (100.0%)

有効回答数 1,535/1,762, 有効回答率 87.1%

問21. あなたが所有する農地のうち、耕作していない農地がありますか。(1つだけ選択)

1. ある	2. ない	総計
1,082 (64.7%)	590 (35.3%)	1,672 (100.0%)

有効回答数 1,672/1,762, 有効回答率 94.9%

問22. 耕作していない理由は何ですか。(1つだけ選択)

1. 高齢化、労働力不足だから	2. 土地条件が悪く耕作できないから	3. 鳥獣被害が多いから	4. 自然災害が多いから	5. その他	総計
362 (36.6%)	409 (41.4%)	130 (13.2%)	3 (0.3%)	84 (8.5%)	988 (100.0%)

有効回答数 988/1,082, 有効回答率 91.3%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問22 「5.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・60才代	転作と米以外に耕作する気がない
大井町	男・70才代	ほじょう整備がしてない
大井町	男・80才～	転作している
長島町	男・40才代	自力不足。考えます。
長島町	男・60才代	病気の為出来ない
長島町	男・60才代	費用対効果から
長島町	男・60才代	国の政策によるとして
長島町	男・60才代	減反
長島町	男・80才～	作る作目がない
東野	男・40才代	収入にならないから。
東野	男・50才代	減田政策
東野	男・60才代	不採算
三郷町	男・60才代	採算が合わない。畑はイノシシ被害による
三郷町	男・60才代	転作
三郷町	男・70才代	減反政策
三郷町	男・70才代	過去の減反政策で転作出来なかった影響
武並町	男・60才代	作付けする物がない為
武並町	男・60才代	全部
武並町	男・60才代	転作
武並町	男・60才代	畑の一部が山林化しているから
武並町	男・70才代	貸し地にしている為、自己耕作なし
武並町	男・80才～	減反政策で
笠置町	男・50才代	必要以上作らない。減反政策があるから。
笠置町	男・60才代	生産調整方針
笠置町	男・60才代	障害者で出来ない
笠置町	男・80才～	世帯主病気
中野方町	男・40才代	農業はやめたいから
中野方町	男・50才代	意欲がありません。
中野方町	男・50才代	縮小
中野方町	男・60才代	減反により
中野方町	男・60才代	耕作機等を処分したため
中野方町	男・80才～	休耕
飯地町	男・70才代	転作
岩村町	男・50才代	田付近の山林により日照不足、障害
岩村町	男・50才代	兼業のため時間不足
岩村町	男・60才代	生産調整、労働力不足
岩村町	男・60才代	自己保全管理
岩村町	女・80才～	使っても収入が期待できない
山岡町	男・50才代	適当な転作物がない
山岡町	男・50才代	減田制度
山岡町	男・60才代	転作実施
山岡町	男・60才代	病気のため。後継者なしのため
山岡町	男・60才代	米価が安いから
山岡町	男・60才代	転作
山岡町	男・60才代	営農組合にあずけている
山岡町	男・70才代	住居と農地が離れている

町名	性別・年齢	問22 「5.その他」と回答した方の自由記述欄
山岡町	男・70才代	土木や条件は普通だが水利条件が悪い
山岡町	男・80才～	転作の励行
山岡町	男・80才～	採算が合わない。
山岡町	女・60才代	今の家族の分で十分だから
明智町	男・40才代	仕事があるし、耕作するつもりはありません
明智町	男・50才代	体に障害があるから
明智町	男・60才代	転作のため他に作る作物がない
明智町	男・60才代	採算がとれないから
明智町	男・60才代	■■作付目標面積をオーバーしているから減反してきた。
明智町	男・70才代	木がはえて田んぼにも畑にもならない
明智町	男・70才代	意志がない
明智町	男・80才～	耕作地入口が陥没し恵那土木事務所補修見込み。野志川石垣堤防破壊のため入口に入れない
明智町	男・80才～	小面積のため
明智町	男・80才～	採算が合わない
明智町	女・60才代	今の面積で家族が消費できるし、仕事と両立できる
明智町	女・60才代	耕す人がいないし農協が話し合いにならない
串原	男・60才代	農機具が悪い為に出来ない
串原	男・70才代	買った方が安い
串原	男・80才～	農地が担保に入っていて手をつけられない
串原	女・40才代	一部のみなので今後耕作する事を検討中
上矢作町	男・50才代	作物を作る理由がない
上矢作町	男・60才代	作っても赤字であり必要以上作るつもりはない。
上矢作町	男・70才代	必要性がない
恵那市外	男・50才代	現生活基盤が遠方で維持管理が困難であるため
恵那市外	男・50才代	遠方に住んでいるから
恵那市外	男・60才代	今以上作っても消費できない
恵那市外	男・60才代	市外在住のため
恵那市外	男・70才代	住所地と耕作地が離れている
恵那市外	女・40才代	名古屋に住んでいて、水をやりたり耕作できない。実家に行くのは2週間に1日か1カ月に1日くらい。
不明	男・60才代	輪作(連作傷害対策として)の為

問23. 後継者問題を解決するために有効なことは何だとお考えですか。(3つ以内で選択)

1. 経営開始時の所得の補助	2. 研修の充実	3. 機械・施設導入の助成	4. 農家として働くメリットや魅力の発信	5. 農家以外からの新規参入の促進
360 (24.8%)	93 (6.4%)	552 (38.0%)	746 (51.4%)	290 (20.0%)
6. 住居・宅地の確保	7. 子育て支援等生活環境の充実	8. 婚活等結婚への支援	9. 地域内で問題を共有し助け合う仕組みの構築	10. その他
74 (5.1%)	135 (9.3%)	160 (11.0%)	515 (35.5%)	137 0

有効回答数 1,451/1,762, 有効回答率 82.3%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問23 「10.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・50才代	業として行う農業、趣味としても20aぐらいは取り組めるようにして。農地法の見直しを！
大井町	男・50才代	農法(システム)の継承による後継者へのバトンタッチ(必ずしも家族とは限らなくてもよいと思います。)
大井町	男・60才代	食べていけること
大井町	男・60才代	農業自体何も知らない
大井町	男・60才代	生活出来る所得の確保
大井町	男・70才代	営農組織による経営。法人化による農地統合。
大井町	男・70才代	機械等に費用がかかり赤字になっていく
長島町	男・40才代	抜本的、根本思考の変革
長島町	男・60才代	米野菜の販売単価を上げる
長島町	男・60才代	わからない
長島町	男・60才代	農業での生活はムリ(収益不足)の為。後継者は出来ない。
長島町	男・60才代	農業で収入を得ることが出来るようになれば良いと思います。兼業農家の場合他で働いて得た収入で田んぼを維持しなくては行けないので。
長島町	男・60才代	後継者がいないし、小面積の農地の為、補助助成は必要ではないと思います。
長島町	男・60才代	農業を続けるため、稲作作業に関わりを持ち、農作業に御したいので、一部作業(稲刈、コンバイン等)を受託してくれる個人や組織が必要。
長島町	男・60才代	後継者も兼業農家を続けられるよう、農業以外での経済的・時間的余裕の増大
東野	男・～39才	少子高齢化・人口減少と同時に考えるべき問題
東野	男・40才代	農業で生計が出来るなら考える人も増える
東野	男・50才代	営農組合設立と組合の経営安定
東野	男・50才代	生産品の価格を下げる
東野	男・50才代	農業だけでなく林業、商業、流通産業などの1次から5次6次産業(生産・流通・販売・育成・開拓・保全)などの総合的な展開が必要だと。
東野	男・60才代	人口減をどう考え、解決して行くかだと思います。
東野	男・60才代	経営としてもうからない
東野	男・60才代	米価。質により価格を決める(18000円以上/1俵あたり)
東野	男・60才代	所得増(特に米価)
東野	男・60才代	後継者のなり得る人の意志
東野	男・60才代	土地条件の解決
東野	男・60才代	恵那市内の仕事が限られた分野のみである。
東野	男・60才代	米が安い。肥料が農薬が高い。
東野	男・60才代	Uターンできる生活環境、職場等の充実
東野	女・70才代	わからない
東野	女・70才代	帰郷しないとわからない
東野	女・80才～	農振で耕作するしかないが、もう維持管理出来ない。
三郷町	男・50才代	必要なし
三郷町	男・60才代	労力に対する利益があるかどうか
三郷町	男・60才代	農業収入が少ない(無理)
三郷町	男・60才代	わからない
三郷町	男・70才代	現在営農組が充実していますので心配なし
三郷町	男・70才代	中山間地域ではむり。農業だけでは生活出来ない。
三郷町	男・80才～	兼業職業の確保(長期)
武並町	男・50才代	特殊な作物による黒字化
武並町	男・60才代	とにかく採算が合わない。購入者より3倍高い米を食っている。
武並町	男・70才代	営農組合を設立
笠置町	男・60才代	収益が無い事

町名	性別・年齢	問23 「10.その他」と回答した方の自由記述欄
笠置町	男・60才代	高齢、病気等で、できません
笠置町	男・80才～	生産物の収入より雑経費支出の額が多く赤字経営
笠置町	男・80才～	小規模農業では生活が出来ないし山林に住みつく人がいない
中野方町	男・40才代	圃場整備がされていないので後継に渡せない
中野方町	男・50才代	少子化対策
中野方町	男・60才代	お米を8000～9000円で売ってもお米の額で働いてきたメリットがない
中野方町	男・60才代	農業後継者としての営農組合の育成・強化
中野方町	男・60才代	自分で育てそれを消費する喜びの発信
中野方町	男・60才代	ない(人口減少)
中野方町	男・70才代	各職業の農業との兼業化。自給化。土日曜営業。
飯地町	男・60才代	農業を希望し移住する人がいるが、土地やその後のなりわいにめどが立たない。土地の貸借等のバンクのようなものが必要だと感じる。
飯地町	男・80才～	土地の有効利用の方法
飯地町	不明・80才～	他町で住んで居る
岩村町	男・50才代	鳥獣対策。一生懸命作っても楽しくない。若者が農業やれない
岩村町	男・50才代	農作物が安過ぎる
岩村町	男・50才代	米以外の作り方の知識がない。
岩村町	男・60才代	個人で行っていても助成を。
岩村町	男・60才代	農業のみでは生活出来ないので近くに働く場所が無ければ(県外)外に出て行き、そのまま家には戻らない。
岩村町	男・60才代	労働に対する収入が見込める事
岩村町	男・60才代	中小規模の農家では米価の減少の中、リスクを負わせられない
岩村町	男・70才代	所得の確保
岩村町	男・70才代	農地の宅地転用
岩村町	男・70才代	農業より収入の多い産業(職業)に従事している
岩村町	男・70才代	後継者が考えること
岩村町	男・70才代	大規模にして土地をまとめる
岩村町	男・80才～	ブドウ、野菜、稲、いろいろ健康のために良い
岩村町	女・60才代	米代金をもっと高くなれば若い人で力が入るのでは？
岩村町	女・70才代	農地を預けている岩村営農の存続
岩村町	女・80才～	労働する者がいない
山岡町	男・～39才	解決は難しい
山岡町	男・40才代	米の買い取り価格をアップ
山岡町	男・50才代	農業で生活ができる収入を確保できる事
山岡町	男・50才代	農地の流動化、下限面積の廃止
山岡町	男・50才代	金銭面、精神面のトータルで利益になること
山岡町	男・60才代	農業経営の限界。JAも含めて。
山岡町	男・60才代	住み良い町にすること(いろいろな点で)
山岡町	男・60才代	農業で少しでも収入があるようにする。(現状はやっただけ赤字)
山岡町	男・60才代	農業収入だけで生活ができないので兼業で働く所の確保
山岡町	男・60才代	やらせたくない
山岡町	男・60才代	どうする事も出来ない
山岡町	男・60才代	米価格の問題
山岡町	男・60才代	農業は大変働くだけで収入が増えない事
山岡町	男・70才代	安定した所得が確保出来る農畜産物の価格対策
山岡町	男・70才代	農業が魅力ある職業環境になる事
山岡町	男・70才代	若者に魅力のある農政を願う
山岡町	男・70才代	農業収入(米価が低く生活困難)

町名	性別・年齢	問23 「10.その他」と回答した方の自由記述欄
山岡町	男・80才～	水稲以外に農地の活用
山岡町	男・80才～	採算が合う米の買取価格。国が農業に力を入れていない。国が悪い。
山岡町	男・80才～	わからない
山岡町	男・80才～	農産物の価格の安定
山岡町	女・80才～	わからない
明智町	男・50才代	安定的な収入、販売先、生産(購入)スケジュール
明智町	男・60才代	米単価の値上げ
明智町	男・60才代	農家の後継者は無理。広い意味での担い手(組織)所有と経営の分離など。
明智町	男・60才代	わからない
明智町	男・70才代	若者が地域に残っても良いと思える環境作り
明智町	男・70才代	優良農地の維持は経費のかからない農業の仕組み作り。兼業農家の願い。
明智町	男・80才～	わからない
串原	男・50才代	わからない
串原	男・50才代	所得(確保)増→ブランド力の確立、ブランドの差別化
串原	男・60才代	それ以外に市の助成も無い。イノシシ等の被害者も多く後継者以外の■題です。
串原	男・60才代	営農組合を上手に使う(充実させる)
串原	男・70才代	農協退職者が手を出さない事、その中にあるのでは。会社員並みのモデルケース等示す事が出来たら
串原	男・80才～	担保を解消して頂きたい
上矢作町	男・50才代	本人が市外に就職すると言っている。
上矢作町	男・50才代	都市集中型の政策を大きく変えること
上矢作町	男・60才代	交通(バスが少ない)学校(高校が遠い)買物(店がない)就業の場(場がない)のない事
上矢作町	男・60才代	農業では食べていけない
上矢作町	男・70才代	小規模兼業では近くに働く場所が欲しい。地方の総合的な活性化の中で農家の後継者問題を考えたい。
上矢作町	男・70才代	中山間地でも生活できる所得確保政策がない限り中山間地農業の後継者は確保できないし、消滅すると思う。
上矢作町	女・70才代	家族がいないので
恵那市外	男・50才代	安定した所得が確保出来る農畜産物の価格対策所得を継続して得られるしくみづくり
恵那市外	男・60才代	委託制度の充実
恵那市外	男・70才代	高齢者の生活が成り立たない(バス等がほとんどない。買い物店が近くにない)
不明	男・60才代	問23のすべての項目の充実が必要。総合的な対策が必須。

問24. あなたの地域が10年後も良好な地域農業を行うために必要なことは何だとお考えですか。(3つ以内で選択)

1. 認定農業者などの担い手の育成	2. 営農組合や農業生産法人などの営農組織の育成	3. 農業への新規参入者の獲得と育成	4. 有害鳥獣対策の充実	5. 生産基盤の整備(農道、水路等)	6. 耕作放棄地や遊休農地の解消	7. 地産地消の推進	8. 地域特産品の生産振興	9. 都市住民との交流	10. Uターンの推進(集落の担い手確保)	11. その他
369 (23.6%)	851 (54.3%)	287 (18.3%)	720 (46.0%)	292 (18.6%)	422 (26.9%)	204 (13.0%)	231 (14.8%)	75 (4.8%)	216 0	69 0

有効回答数 1,566/1,762, 有効回答率 88.9%

「その他」と回答した方の自由記述回答

町名	性別・年齢	問24 「11.その他」と回答した方の自由記述欄
大井町	男・50才代	楽しめること、だれでもできること、やれることへの手助けを行う
大井町	男・50才代	地域農業というものがよくわかりません。
大井町	男・70才代	従事者が居ないので無理ではないか
長島町	男・40才代	人手(移民)を受け入れる。(外国人等)
長島町	男・40才代	経費削減
長島町	男・50才代	小さな田ですが手伝ってくれる人材がほしい
長島町	男・60才代	わからない
長島町	男・60才代	生活に必要な収益が必要。(現在では農業での収益はムリ)
長島町	男・60才代	サラリーマンをしながらの転作農地の管理が大変な為、農地(田んぼ)が100%米作り出来ればと思います。
長島町	男・60才代	所得。公務員と同じ所得が得られる事。
東野	男・50才代	1～10をふまえて「食」に対する日本人の考え方を再考する事。富める飢餓者を減らす事。
東野	男・60才代	人口減をどう考え、解決して行くかだと思います。
東野	男・60才代	農作業がもう少し楽になると良いと思います。
東野	男・60才代	農業収入の増額の対策
東野	男・70才代	常時用水が確保できる水源が必要(ポンプアップしなくてもいいように)
三郷町	男・50才代	農業所得そのものの向上。(税制度もよくない)
三郷町	男・60才代	今は考えない
三郷町	男・60才代	米価等の値上げ
三郷町	男・70才代	農業を市・JA・農機ディーラーで経営が望ましい。
武並町	男・60才代	生産所得の補助
武並町	男・60才代	何も期待できない。生活のため、賃金の確保が最低条件でしょうね。
笠置町	男・50才代	小さな兼業農家に農振の決まりは何もできない足かせでしかない。
笠置町	男・60才代	農業が自立できるしくみづくり
笠置町	男・60才代	田舎暮らしの「よさ」のPR
笠置町	男・80才～	小規模で急峻地域の各農村町ではどんな良い政策を実施しても放棄地になる
中野方町	男・60才代	近くでの仕事
中野方町	男・60才代	農業・農地の位置付けを明確にする
中野方町	男・60才代	農村景観を自分なりに作っているという意識。
中野方町	男・80才～	企業を作り小農家の人手を他産業に使い営農組織の認定育成も必要数作る。
飯地町	男・60才代	地域老人の意識改革
岩村町	男・40才代	わからない
岩村町	男・50才代	農業のブランド化
岩村町	男・60才代	営農法人以外への助成を。
岩村町	男・60才代	農業に魅力を感じられるようにする。
岩村町	男・70才代	農地の宅地転用の自由化
岩村町	男・70才代	思うように時間が取れないので困っています
岩村町	女・70才代	岩村営農が今のまま作ってくれる事。
山岡町	男・40才代	6次産業へのコーディネート
山岡町	男・60才代	希望の持てる農業政策確立!
山岡町	男・60才代	なかなかむづかしい問題と思います。

町名	性別・年齢	問24 「11.その他」と回答した方の自由記述欄
山岡町	男・60才代	予定が組めない
山岡町	男・60才代	経営の成り立つ方法
山岡町	男・70才代	安定した所得が確保出来る農畜産物の価格対策
山岡町	男・70才代	米の単価が高くなる事
山岡町	男・70才代	農産物の単価及び商品加工
山岡町	男・70才代	収入補償
山岡町	男・80才～	農業団体を作り市内の町単位での経営。
山岡町	女・80才～	農業者の国家資格が必要。農業者のレベルアップするため
明智町	男・60才代	問24の1～10までの総合的な補助が必要と考えます。
明智町	男・60才代	販路の整備、保証(JAあるいは県、市による)
明智町	男・70才代	農地法の改善(非農家の扱い簡素化)
明智町	男・80才～	わからない
明智町	女・60才代	JA
明智町	女・80才～	山間地では、もう農業はムリ。Uターンもムリ。子孫は町に住めばよい。
上矢作町	男・50才代	都市集中型の政策を大きく変えること
上矢作町	男・60才代	JA生産組合などの販売力の強化。安定販売と生産指導
上矢作町	男・70才代	中山間地でも生活できる所得確保政策がない限り中山間地農業の後継者は確保できないし、消滅すると思う。
上矢作町	男・80才～	モミスリー、コンバイン。1反5セでは機械が高い■■でこまる
上矢作町	男・80才～	特に米価が安すぎる。もう少し値上げをしなければだめだ
上矢作町	女・50才代	わからない
不明	男・60才代	土地所有者、農業従事者への適正な利益配分が出来る農業形態を实践すべきでは？

そのほかご意見がありましたら、下記にご自由にお書きください。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
大井町	男・60才代	カモ、ヌートリアが阿木川から来て被害に逢っている。何とかならないか。
大井町	男・60才代	都市住民との交流を密にし家庭菜園付分譲住宅を整備し営農支援体制を充実し、人口増と自給自足を担う政策を推進すると共に栗等の特産物を全国にPRし販路拡大と価格安定と収入向上を目指す施策を展開していただきたい。
大井町	男・70才代	認定農業者とか担い手等にこだわり、しいては法人と営農組合に限定したりが目立つ(国の方針?)この後に退職(一部早期)し農業を続けて行く人々への配慮が少し含まれず、個人で水稲と畑を耕作している農業者たちが孤立してしまっている。相談する場所も少なくどんどん孤立してしまう方々がおられると思う。60才を過ぎても安心して続けられる農業も必要かと考える今日今頃です。
大井町	男・70才代	今は趣味の家庭菜園だけです。もう農家ではありません。
大井町	男・70才代	現在の米価では採算が合わない。又農業機械が高価でそのため故障や壊れた時など、買い替える事をするより農業をやめた方が良い事になる(耕作面積も少ない)農業政策があまりにも変わりすぎる。お上の発想では農家はついて行けない。
大井町	男・70才代	今後の農業経営は個人から組織での経営に切り替え、地産地消を推奨すると共に地域の特性を生かした作物を捜すことも必要でしょう。中山間地では農業の基盤整備もむづかしいと思いますが、手掛けなければならないと思います。何から手を付けて良いかわかりませんがお金も時間もかかるむづかしい問題だと思います。
大井町	男・70才代	少子化により無理だと思う。
大井町	男・70才代	田を業者に借りてソーラー発電したらいいかなって思います。
大井町	男・80才～	高齢化に対する助成または貸付・リース制度を検討してください。例えばハウス(300㎡-500㎡)を助成し、生産された農産物は地産地消で活用。集落営農地域の育成。集落で考える。小規模耕地(小区画)では機械が効率よく使える区画とする。
大井町	男・80才～	米を買ったほうが安い。機械が高い。
大井町	女・60才代	自身が農業未経験者で本意ながら田畑を相続する事になり高齢間近で後継者もいないため耕作はきわめて困難。希望者がいれば田畑は無償で提供したいです。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
長島町	男・40才代	就農してみたい人は意外と多いです。若い主婦らが気軽に働ける(パート・アルバイトとして)組織が身近にあれば(若い主婦が好むようなおしゃれな雰囲気づくりをしているような)耕作放棄地等の解消につながるのでは? おしゃれな農業は地元の人々の発想では難しいかもかもしれません。ターン・ーターナー者が農地を手に入れやすい制度に改革し、その方たちのサポート(交流会、補助金、ノウハウ)をしてほしいです。
長島町	男・40才代	小さな改革では変わらない。形だけやっても意味がない。市の職員の一人一人が個人事業主として受け持つ
長島町	男・50才代	集落内の農地が荒廃している。理由は高齢化で立地も悪いため作業をしてくれる人もない。5年先には全農地が草畑になると思う。
長島町	男・50才代	冬は冷房、夏は暖房で24時間営業、365日休みなし、こんな職業若者がやりたがるわけがない。又、やらせたくない。時間給に換算したら、コンビニのバイトより安く、ひと昔前の水飲み百姓よりもみじめな暮らしになるのは目に見えている。年に一度しか使わないような農業機械に一揃い1000万円近くも投資して、挙句の果てに農器具小屋も立派にして、散々苦労しても自分の葬式代も残りはしない。これが日本の農業の現実だと思う。平成8年頃の食料自給率は43%近くあったが、現在では38%程度に下がっているのが証拠である。根本的な農業政策が誤っているのは、前から言われていることだ。山奥の地域は、過疎化がどんどん進み集落がどんどん消滅しているのは目に見えている。日本の農業に希望が持てないのは、すべての農業従事者が考えることだと考える。
長島町	男・60才代	農業所得で生活ができるようにする。個人で農機具を購入する場合に、補助金等を検討する。農機具が高すぎる。兼業農家の人が専業農家になり生活できれば良い。
長島町	男・60才代	太陽光パネル程度の設置は認めて欲しいです。
長島町	男・60才代	水路のU字溝つぎ手部分、またU字溝下面の砂流れ等による水もれ箇所がある。永田川からの給水をする箇所があるが川の水量により水田への給水口が高い為水田への給水が非常に困難な所がある。水田への給水箇所の改善検討をお願いします。
長島町	男・60才代	引き続き農政部門に優秀な職員を投入されたい。
長島町	男・60才代	ブランド品を奨励し、もうかるような物を作る。
長島町	男・60才代	特に猪等の被害が多いから市としても課or部を作り対策をしてほしい。(駆除に力を入れること)
長島町	男・60才代	国土(農地)保全の意義をもっとアピールすると思う。我々農家は国を(ゆたかな緑を)守っていく。
長島町	男・60才代	米の販売価格が安すぎて常時赤字である。そのわりに肥料・農薬・資材等が高い。イノシシを退治するのにJAも資材を売るだけでなく実際に行動してほしい。
長島町	男・60才代	鳥獣対策(特に猪)を強力に推進され安心して農営できる基盤づくりと農業機械の充実(安価に購入できる仕組み)
長島町	男・60才代	恵那地域で農地農村を維持するためには、その大半を占める兼業農家が採算を度外視して農業に取り組めるよう、農業以外の収入による経済的余裕を確保することが重要。
長島町	男・70才代	兼業農家で他で働いた金を農業へつぎこんでました。特に基盤整備の金、農機具代等。田を直しても米の価格があまりにも安い。今の時代だったら1俵あたり5~6万円位しても良いのではないのでしょうか? 米に限らず生産者は可哀相、気の毒である。現在国からの補助金でかろうじて息をしている状態である。生かさず殺さずが現状の様な気がします。(昔から続いています)
長島町	男・70才代	面積も少なく力が入らない。小規模農家(20アール以下)は対象から除外したらどうか?
長島町	男・70才代	小型でよいから田植機、コンバインのレンタルができるようにして欲しい。理由(1)年に1日か2日しか使わない。(2)高価。現在の米価では小規模農家は買えない。(3)今使っている田植機とコンバインは年代的。壊れたら米作りをどうしようかと思案。
長島町	男・70才代	「農業以外が主」の兼業農家(米と野菜は自家消費のみ)ばかりの私の地域では、米作作業の委託しか考えられない。
長島町	男・70才代	周囲山に囲まれた田畑は獣害(イノシシ)の被害を受け大変困まっている。耕作する気がなくなってきた。久須美、市川勝彦
長島町	男・80才~	利益が出なければだれも農業などやらない
長島町	男・80才~	補助金にたよらせ農業では進歩がない。土地の有効活用!!一年を通じて活用する専業農家を育てるべきである。米作のみの農業では「あとの半年寝て暮らせ」のデカンショ節と同じである。
長島町	男・80才~	私の班15戸有りますが現在は水稻農家2戸となる。耕作放棄地又遊休農地ばかりになってしまった。原因は鳥獣被害が多く電柵では効果はない。地形が悪く方法に試案は無く従って放棄せざるを得ない状況です。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
長島町	男・80才～	地理的便利な土地だが赤線だけで車が出入り出来ない。恵那インターと鉄道の真中の田、将来老人ホームが出来ないかと思ひます。
長島町	女・70才代	土地を転用したいのですが農振除外が出来なくて転用する事も出来ず大変こまっている所です。高齢者の人でも農振除外が楽に出来る様をお願いします。転用を考えています。
長島町	女・80才～	現在兼業農家が多く、又農業経営に人手が不足です。農業は赤字が増すばかりで生産が上がらない。(高齢化増の現状です。)
長島町	女・80才～	私田口都87才は息子が公務員として県警本部で務めておりますので平成31年3月まで定年まで留守番をしております。田んぼの草刈りは近所の方やシルバーに頼んで何とか守っていますが最近腰が痛くて困っています。
東野	男・40才代	米を生産するより買ったほうが安くつくのにやる人が増えるわけないでしょ？会社員としてかせいだ金を農業につぎこむただのパツゲームになっている。後継者がいても「やめろ」と助言をする人が多いのでは？恵那市の米をブランド米にする努力をしては？しかも恵那市でしか買えないくらいのも物になれば高く売れる。もしくは海外に目を向けては？どのみち明るい未来はない。
東野	男・50才代	農産物自己生産率が人口の5%にも満たない国で1日5万トンもの廃棄食が出ているこの異常国日本。日本人がずっと長い間守ってきた食生活は、文明流入によって変わってしまいました。昔の生活の戻れと言うわけではありませんが、色々な文化と呼ばれるものは必ずそのリスクを背負ってます。人口減少も高齢化も少子化も晩婚化も。大気汚染も温暖化も異常気象も。そのリターンは使ったはずで、リスクを忘れさっていただけです。今から本当のリスク期だと思っています。現状はさらに進むと思ひます。未来の農業は私は思ひます。現状からの発想発展では決してリスクは減ったり消えないと。見方、対策を半世紀一世紀先を見据えたものにするべきだと。節目を設けて段階的に適応した対策をするべきだと思うのです。所で農産物って人間が手を加えないと育たない植物なの。パソコンなどで管理下でしか収穫すら出来ないのでしょうか。
東野	男・50才代	農業は何をすれば経営が成り立つかわからない。農家として規模別に成功例を紹介してほしい。
東野	男・60才代	兼業農家でも米トマトナスなど従来の恵那産品に限らず何か価値の高い野菜の導入など考えてほしい。農地を法で縛り過ぎている。もっと大胆に発想転換し市街地に近い東野中心部には住宅集積するなど人口増加を計ってほしい
東野	男・60才代	補助金が入っていない農地を農振除外とすること。
東野	男・60才代	JAの改革。どんな米も同じ値段はおかしい。うまい米は高く、うまくない米は安く。
東野	男・60才代	東野地域は個人の権利意識が強く営農組合の設立も進まない。稲作を主に規模拡大を行えば機械設備も伴い資金繰りに悩む後継者問題以前
東野	男・60才代	農業が採算ベースになるためには労働がハードすぎる？
東野	男・60才代	東農市場の復活をさせ農産物の流通をしてほしい
東野	男・60才代	農産物の消費拡大が減反政策の縮小になると思う。輸出も含めて画策が必要と思われる。
東野	男・60才代	水田で地下水がわき出て耕作期間で田が乾く事がない所。排水口が低く水路に水が通ると逆流し乾かす事が出来ない所があり、耕作意欲がわかない。
東野	男・60才代	年金生活で農業機械が高くて買えない。有害鳥獣がひどくて米が作りにくい
東野	男・60才代	今後の農業は組織的な運営が不可欠であると思っています。(もちろん規模にもよりますが)
東野	男・60才代	自家消費が中心の農業では直販等できる農産物管理、又条件の悪い農地等の管理等もなかなか困難になります。
東野	男・70才代	認定農業者への所得の補助充実、メリット
東野	男・70才代	10a未満の田んぼが多くあぜが高く草刈大変。耕作してくれる方がいないです。田があちこちにあり農作業がはかどらないので宅地にしたい所もあります。
東野	男・70才代	有害鳥獣対策の充実(猪、鹿、小動物等の捕獲、サルの追放等、真剣に考えてほしい)
東野	男・70才代	農振地域の見直し。自由な土地活用。太陽光発電施設など
東野	男・70才代	自然災害が多いから野菜が思うようにならない。
東野	男・80才～	今回ばかりでないが計画だおれしている。意見も出たくないが此のような考えをもっと持つとよい。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
東野	女・70才代	私の山中の田は今イノシシシカの遊び場となっているような土地は営農組合にたのむ事も出来ない。水代、税金を使い続けてこの土地を末代に残す事はとても苦しい。たとえ途中で有ってもぼた草刈りをシルバーになり自分で刈ること等、土地が有ることで罰ゲームのような時代。次の世代はここに住む事は出来ない負の遺産でしか無い
東野	女・70才代	現在は農地は貸して作業していますが、草刈だけは自分でと言われ現在は仕事をしています。でも先を考えたり女性ばかりでは先が知れてます。農地は売却か、お国に返したいです。農政課の方々どうかして下さい。お願いします。
東野	女・70才代	農地7aを売却予定で希望者がありますが、売却までの順序、価格の設定等、不安があります。
三郷町	男・～39才	現在、営農組合にほとんどを委託していますが、農地の使い方が雑で稲刈のあとは、田んぼがぐちゃぐちゃ。草は自分で刈れないといけませんが、労働力が足りない。農地を持っているとマイナス面ばかり。宅地にして売りたいが、宅地にすることもできない。農地など持っていたくない。
三郷町	男・50才代	農産物の販売額は60万円弱の兼業農家ですが、自分で作業することが多く、H28は結果的に6万円弱の所得税が発生しました。確かに農業所得があり課税がやむなしと思う反面、土日に汗を流して農地を守っているのにこの作業の結果に課税されると、何かやりきれません。
三郷町	男・50才代	今までの国の農政はあやまり！瑞穂の国の農業を大切にしない政治X。
三郷町	男・50才代	カメ虫、外虫等の消毒をヘリコプターで実施してほしい。作業員の高齢化により作業が困難になって来た。無農薬栽培と言っている人たちが近くにいる為、色々とうるさい。後から余所から来た人が昔から居る人達よりおおきな顔をして理由もわからず色々言うて来る。
三郷町	男・50才代	今現在全ての耕作地を全面放棄状態です。会社員で有る為休みが少なく出勤時間が早く(A M5:30-6:00始業)なので耕作は無理で有り、農業による収入が見込めない。
三郷町	男・50才代	鳥獣保護区をもっと縮小しない限りどんどんイノシシ、シカ、サルが増加してくる。もっと積極的に駆除しないとダメだ。猟友会が高齢化して全く機能していない。
三郷町	男・50才代	私は平成20年から稲作をしています。自分で作った米が食べられることに生き甲斐を感じています。毎年楽しく農作業をしていますが、水利についてのみ辛い思いをしています。私の水田の半分は昔からの谷水を利用していますが、新参者の私は水路の水を引き入れることを最後にしか行うことが出来ません。私が水を引き入れると下流の方が「水が来ない」と文句を言われます。又下流の人が田植作業が終わり、自分が水を引こうとした頃には、上流の人が水を大半取水しますので、田植作業がスムーズに行えません。不公平を感じます。
三郷町	男・60才代	問20について。過去にたまねぎを出した事があるが、規格が厳しく専業でやっていないのでむつかしくやめた。地産地消を推進をするのであれば、もっとラフに考えなければダメ。
三郷町	男・60才代	現状、農業は高齢者の仕事と思われる。もっと若者に魅力ある事業課にしたら
三郷町	男・60才代	労力に見合った収入があれば、後継者の心配と農地の荒廃も心配が少なくなると考えられる。
三郷町	男・60才代	営農組合長として答える質問なし
三郷町	男・60才代	私達の年代は長男として生まれた以上、家を守り田畑をやるのが当然と育ちました。今は平日は会社勤務、休日は家庭サービスと思えます。農業をやる楽しみ、必要性を社会全体で考える時だと思えます。
三郷町	男・70才代	農政課の職員も大変と思いますがもう少し地域の皆さんと直接に話をしにきて下さい。アンケートだけに頼らないで
三郷町	男・70才代	農作業もイノシシ等に作物を荒らされてとても手におえません。今日にもやめたいです。
三郷町	男・70才代	75才位になると現状維持。
三郷町	男・70才代	中山間地域では草刈、農地の手入れに相当時間を要し、生産性が上がらない。又農業地域から工業地域に変更した方が地域の活性が出来る。
三郷町	男・70才代	農業を市・JA・農機ディーラーで経営が望ましい。
三郷町	男・80才～	三郷町の軽トラ市(年2回)大井町でのまちなか市(年3回)に参加していますが年々売上額が増加している。中部用水管理組合役員が順番に廻ってきますが、参加農家が減少していて今後が心配です。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
三郷町	男・80才～	一言。私自身高齢者であり、個人の家の状況を考えているとき現在の状態が何時迄継続できるか心配して居ります。幸い若い者が家から通勤して私の及ばぬ作業を予定を組み協力してくれますので現在は維持出来ております。将来(問23(9))にあります助け合うし無味の構築こそが地域に課せられた課題と考えます。
三郷町	男・80才～	農業はキタナイ、エライ、収入少ない、生産の割に収入が少ない。
三郷町	男・80才～	若い者に農業を継げと言えない。働けば損がたつような農業政策では希望がもてない。
三郷町	男・80才～	私は87才妻は81才、2人暮し
三郷町	女・60才代	私道の生活道路の充実と側溝の整備！（三郷町野井1306-1中尾から県道66号線へ下る道路）中尾・牧野・市川・笠木の4軒分の私有地ですが、無償提供（4軒の意見はまとまっています）で良い道路を作って頂きたいです。
三郷町	女・70才代	高齢化し、労働力不足のため農作業が出来ない。今のところ全作業を委託し田の管理をしているが、長男が退職し農業をするかどうかかわからない。耕地整理し、耕作地も大きくなり、水の便利もよくなり、昔と比べれば非常に作業内容も楽になったが、農地を守っておいしいお米が出来る方法を考える方法を推進お願い致します。
武並町	男・～39才	イノシシを退治して下さい。恵那市。市として行って下さい。宜しくお願いします。
武並町	男・50才代	米を生産しても肥料刈取り等経費がかかりすぎてマイナスの仕事。すればするほど赤字になる。先祖からの土地を荒らさない様にしているが大変です。
武並町	男・50才代	いのしし対策など、もっと強力に行える組織作りを希望します。
武並町	男・60才代	農地の太陽光発電の許可！
武並町	男・60才代	土地は他町(明智)に有る為、作物(売り物)は生産していない。問6～20迄は未記入
武並町	男・60才代	採算が合わない労力を0としても全然合わない。農作物すべてに言える。一生懸命仕事(サラリーマン)で稼いだ金を農業につぎ込んでいるのが現状である。
武並町	男・60才代	農業者の高齢化と後継者不足解消の為、補助金等を活用した営農組織の育成と拡大を早急に実施していくことが必要と思います。
武並町	男・60才代	ポストハーベスト。昔話題になりました。外国からの米麦トウモロコシ野菜等の輸入についてもう少し消費者に知らせるべき。現在アレルギー体質の子供が多くなったのは輸入食品(農薬)を食べているのが大きな原因？25年程前は50人にひとりもいなかった。我らの学生の頃は100人いても1人いたかどうか。地産地消を推奨すべき。
武並町	男・60才代	7年前よりイノシシが農地を荒すようになりました。それ以来、その被害が増え続けています。苦勞して作った作物がイノシシにやられてしまうと耕作していく気力もなくなってしまいます。早期に対策をする必要があります。
武並町	男・60才代	農業は他の職業と違い収入が少ない、休みがない、天候に左右される等、問題が多い。他の産業の様な給料が保障されれば生きるための食材の提供だから大変重要な産業ではあるが、国の政策が悪い。江戸時代と同じで少しも進歩がない。機械貧乏ですかねえ。
武並町	男・60才代	後継者育成
武並町	男・70才代	地域への移住者転入者をどうすれば増加させることが出来るのか。東濃の他市と比べても著しい人口減少をどうすれば少しでも増加の方向へ転じることが出来るのか？恵那市の最重要課題をどうすれば解決出来るのか。
武並町	男・70才代	水路の再整備を行い営農組織の育成と助成によって農業の形態を作らなければ崩壊する。
武並町	男・70才代	当地域は地理的条件が悪く基盤拡大が出来にくい。委託するも収益向上に結びつきにくいと思われます。小規模でも収益性の高い作物、特産品の開発が望まれる。食をなくして生存できないから消滅はないと思いますが輸入に依存しないといけないと思います。
武並町	男・70才代	小規模農家でも生活が成り立つ様な農業政策の早期の推進。
武並町	男・80才～	全部耕作していない。田、畑を貸出したい。
武並町	男・80才～	自分で水廻りを見える内はよいが先はわからない
武並町	女・60才代	補助整備も出来ない農地については耕作をしてくださる人もなく鳥獣被害もあり今に荒れてしまいます。荒れて農地としての維持が出来なくなった時の税金(固定資産)が心配です。
武並町	女・70才代	1人家族の年金暮らし。70才～80才の女性多数の意見です。お米(稲)は作ってもらう契約はしているが、ぼたの草刈りと水見は自分でしなければならず草刈りをシルバーさんをお願いしている。廻りに迷惑が掛かるから荒れ田に出来ない。刈賃が高額で年金暮らしにはこたえる。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
武並町	女・80才～	現在稲作を委託していますが、大きな機械が入る田んぼしか作ってもらえず、大小の田んぼは放置されたままです。そのため草が伸び、水も来なくなっています。後継者がいないためやめざるを得ないのですが、国策として日本の農業が成り立っていくよう施策を考えてほしいと思います。日本の米はおいしい。是非農業を生かして欲しいです。
笠置町	男・50才代	田んぼ基盤整備、水路等をもう一度やる。草刈り場の改善対策(田舎は多すぎる)
笠置町	男・60才代	農政はNO(ノー)政。その時々思いつき政策。食料の自給率を本気で上げる覚悟と施策が必要。
笠置町	男・60才代	カメ虫、外虫等の消毒をヘリコプターで実施してほしい。作業員の高齢化により作業が困難になって来た。無農薬栽培と言っている人たちが近くにいる為、色々とうるさい。後から余所から来た人が昔から居る人達よりおおきな顔をして理由もわからず色々言うて来る。
笠置町	男・60才代	今現在全ての耕作地を全面放棄状態です。会社員で有る為休みが少なく出勤時間が早く(A M5:30-6:01始業)なので耕作は無理で有り、農業による収入が見込めない。
笠置町	男・60才代	鳥獣保護区をもっと縮小しない限りどんどんイノシシ、シカ、サルが増加してくる。もっと積極的に駆除しないとダメだ。猟友会が高齢化して全く機能してない。
笠置町	男・60才代	私は平成21年から稲作をしています。自分で作った米が食べられることに生き甲斐を感じています。毎年楽しく農作業をしています。水利についてのみ辛い思いをしています。私の水田の半分は昔からの谷水を利用していますが、新参者の私は水路の水を引き入れることを最後にしか行うことが出来ないのです。私が水を引き入れると下流の方が「水が来ない」と文句を言われます。又下流の人が田植作業が終わり、自分が水を引こうとした頃には、上流の人が水を大半取水しますので、田植作業がスムーズに行えません。不公平を感じます。
笠置町	男・60才代	問21について。過去にたまねぎを出した事があるが、規格が厳しく専業でやっていないのでむつかしくやめた。地産地消を推進をするのであれば、もっとラフに考えなければダメ。
笠置町	男・60才代	現状、農業は高齢者の仕事と思われる。もっと若者に魅力ある事業課にしたら
笠置町	男・60才代	労力に見合った収入があれば、後継者の心配と農地の荒廃も心配が少なくなると考えられる。
笠置町	男・70才代	営農組合長として答える質問なし
笠置町	男・70才代	私達の年代は長男として生まれた以上、家を守り田畑をやるのが当然と育ちました。今は平日は会社勤務、休日は家庭サービスと思えます。農業をやる楽しみ、必要性を社会全体で考える時だと思います。
笠置町	男・80才～	農政課の職員も大変と思いますがもう少し地域の皆さんと直接に話をしにきて下さい。アンケートだけに頼らないで
笠置町	男・80才～	農作業もイノシシ等に作物を荒らされてとても手におえません。今日にもやめたいです。
笠置町	男・80才～	76才位になると現状維持。
笠置町	男・80才～	中山間地域では草刈、農地の手入れに相当時間を要し、生産性が上がらない。又農業地域から工業地域に変更した方が地域の活性が出来る。
笠置町	女・60才代	農業を市・JA・農機ディーラーで経営が望ましい。
笠置町	女・60才代	三郷町の軽トラ市(年2回)大井町でのまちなか市(年4回)に参加していますが年々売上額が増加している。中部用水管理組合役員が順番に廻ってきますが、参加農家が減少していて今後が心配です。
笠置町	女・70才代	一言。私自身高齢者であり、個人の家の状況を考えてとき現在の状態が何時迄継続できるか心配して居ります。幸い若い者が家から通勤して私に及ばぬ作業を予定を組み協力してくれますので現在は維持出来ております。将来(問23(10))にあります助け合うし無味の構築こそが地域に課せられた課題と考えます。
中野方町	男・50才代	農業はキタナイ、エライ、収入少ない、生産の割に収入が少ない。
中野方町	男・50才代	農村の人口減少(子供の減少)をくい止める施策が必要。夏季の草刈りや雑草対策が重労働なので補助や新しい対策方法の普及を行って欲しい。
中野方町	男・50才代	政府は少子化対策を真剣に取り組んでこなかったため、過疎化が進み後継者もいない。また食料を他国に頼り食料自給率を上げてこなかった。今の政府はアメリカと財界にしか顔を向けず自国民のための政治を行っていない。今の政治を根本から変えるしかないと思う。農業だけの問題ではなく日本国民全体の問題として国民一人一人が真剣に考えてほしい!
中野方町	男・60才代	アンケートが営農組合に届きました。内容は個人対象の設問ですので答えづらい

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
中野方町	男・60才代	田の中に石があり。トラクターが壊れる。水路がない。漏水がある。信大の木村氏の等高線土地改良が必要。名古屋での販売所が必要。
中野方町	男・60才代	農業を生かさずころさずの時代は終わらせてはどうですか？このままでは農業をやめる人が多くなるよ
中野方町	男・60才代	山に田畑があり、車が入る道ありません。機械が入る道も狭くて入れません。イノシシの被害があり、農業をやる田畑ではありません。山になってきています。
中野方町	男・60才代	農産物の販売単価が安すぎるため生活が成り立たない。
中野方町	男・70才代	我家では、田を畑にし、家で食べるだけの野菜を作っています。
中野方町	男・70才代	農業のスポーツ化。農業のレクリエーション化。市民全ての野菜造りの日。米作りの日。
中野方町	男・70才代	現在のみままで進んでいったら農業をやる人がいなくなる可能性が高い。平坦地と同じ政策では中山間地は駄目で中山間地直接支払いだけでは存続できないと思います。農地を守る事は思い切った支援策が必要。
中野方町	男・80才～	高齢なため有害鳥獣対策に時間を費すのが解消できれば、もっと耕作に意欲が出そうだ
中野方町	男・80才～	今農業はPPTの関係もあり難しい時です。農は国の本也と格言もあり日本も農があるお陰で今日の日本が発展出来たことと思います。他産業も人口上から見ても特別な科学産業でも出来ない限り難しいかと思われる今日このごろです。農業も機械化され作業が変わってきました。人間も熊も共存出来る様に先ず森林から見直し、鳥がよこぶ実の稔る雑木に全国的に1/3造成すること。そしてキノコや紅葉の山々の治水、災害に強い野山、田畑に猪が来なくてもよい国にしたいと思います。自然界は春夏秋冬の巡還の働きをしています。自然を大切に経済のみでは発展しないと古人の言う如く、中国もしばらく植木をする様です。日本では山村を造る時代かと思えます。そして隣の国と仲良くやれる政治を願います。
中野方町	女・70才代	(農)アグリアシスト中野方に委託しゴマアブラエを作って下さいましたが、苗を植えただけで畦草も刈ってもらえず田の中も草取りもしていません。こんな状態でいいのでしょうか？責任のある仕事を希望します。
中野方町	女・70才代	今は機械も揃っており家族で行っているが、機械が使用出来なくなった場合は委託という形になるかと思っています。
中野方町	女・80才～	将来必要とされるような栄養豊富な珍しい植物を探して生産するとよいと思います。
飯地町	男・60才代	飯地町で農業がおとろえていく一番の原因は「後継者不足」だと思う。継ぐ人材がいない理由は「農業で一家のなりわいを稼ぐ」というモデルが全くないということである。一人でも二人でも「農業をビジネス」として生活する人材が育成でき、一つのモデルがあれば次の世代の仕事の選択肢として立ちあがる。現在、隣に移住してきた若者が「畑を借りてくれて」農業を行い、ゆくゆくは農業で自立したいという夢を持っている。このような農業を始める、続ける若者を支援するしくみを「新しいにない手」「ビジネスとしての農業」等の視点からスタート時の支援を構築したい。また少子高齢化する本町にとって移住や体験などと農業が結びつく町内のしくみ作りを少しでも作る様努力したい。
飯地町	男・60才代	鳥獣アンケートも良いが真剣に対策に取り組むべきと考える。
飯地町	男・60才代	今は貸しております。(間に未記入箇所もありますので)今後も借りたい人がおりましたて商売品を作って生活される予定らしいです。
飯地町	男・60才代	中山間地での米作あるいは畑作は近年猪、カモシカ、猿、日本シカetcの被害が非常に大きいので有害鳥獣に喰いつくされない作物を生産する事も必要だと思う。
飯地町	男・70才代	水田22a(3枚)機械の導入はできるが水利不足で耕作(水田)困難。何を作付しても獣害に合い、生産意欲も出ないのが現状。とうてい後継者はやらない。
飯地町	男・70才代	米作り60年、10才ごろから親に手伝われ大変でした。自分の代で米作りは終わりと思う。右も左もみんな同じ。精一杯生きてそれで良しと思う。アリの穴から石垣がくずれる。よく考えること。
飯地町	男・70才代	町作り委員会をしている水路ため池農道の補修などあり防草シートの配布等々ありますが頼むと二戸以上の利用農家がないと断られますが当地区のような2戸以上あるようなところは数戸しかないのが実状でほとんどが該当しないのが現実。利用出来る所は次々とおんてんを受けているのが現状。受けられない農家は手におえずやむなく農地放棄とせざるをえないのが現実です。2戸以上などという法を廃止してどの農家でも申請すれば受けられるように改定してほしい。ぜひ実現して下さい。
飯地町	男・70才代	イノシシ・シカの被害があつてこれからの農業が案じられる。助成制度があつても二軒以上ないとうけられないため個人では受けられない制度のため矛盾していると思います。
飯地町	男・70才代	続く限り現状維持と思っています。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
飯地町	男・80才～	地域の農地の荒廃を防ぐには営農組合の体質強化のために行政は資金人材確保の支援を行うこと
飯地町	男・80才～	米価は安く肥料は高く米の需要もだんだん少なくなり山間地での農業は無理である。
飯地町	男・80才～	頑張ってもいつまで出来るか。
飯地町	女・60才代	70aの田を保全してます(草刈起耕)1年後がわからない状態です。田は猪に荒らされます。今さらどうしようもないと思います。
飯地町	女・60才代	辺鄙な地での農業の維持は大変難しいです。
飯地町	不明・80才～	高齢に■■■農家。■■■■草刈保全が一番困っている。若い人たちに来いと言われたい。生活出来ないから。
岩村町	男・50才代	飯の食える農業が実現できないと衰退するばかり。営農組合等が母体となり6次7次産業化できれば良いのですが？
岩村町	男・50才代	耕作放棄地への重課税の実施
岩村町	男・60才代	農業を続けたいと思うが自分の年齢では無理があり、又面積も多くてどうにもならない。後継者に後をやれと言う事は言えない為、農地でも売却できればしたい。
岩村町	男・60才代	岩村町では営農に農地が集約されている為安心して農業をやめることが可能でありこれから農業をやりたいと思っている青年をもっと地区に集める必要が活性化を進める一歩だと思います。
岩村町	男・60才代	農地を売りたい。買ってくれる方を紹介して欲しい。
岩村町	男・60才代	隣の耕作放棄地(畑)に困惑しています。何十年も耕作しておらず草はぼうぼう。所有者は50才後半の無職？困り果てて何年も前から年に3～4回草刈りをするよう依頼しているが空返事のみ。仕方が無いので譲って(売って)くれれば草刈りをして管理位すると申し出たが売らないという。何を考えているのか全くわからない。国道沿いでもあり美観も悪い。本当は防犯上としても心配です。境界2m程を年に数回草刈りして防火線としている。その所有者は水田も30a程過去には耕作していたが管理がずさんで又営農組合への委託料支払いが滞ったりして現在は営農組合が借りてしっかりと耕作されている。例えば畑でも草刈り等最低限の保全管理は所有者の義務と考えます。仕事もしないで家でぶらぶらしている奴の気が知れない。困ったものです。行政指導の方法は無いものでしょうか？
岩村町	男・60才代	米農家として経営が成り立たない、計算すると自分の日当ゼロ。若者が農業をきらう。農地への締め付けが強すぎる。結局JA・営農が良い目に合ってるだけ。農地を売るに売れないどころかタダでもいらなと言われてた。
岩村町	男・60才代	岩村町は富田地区に農村景観日本一との場所がありますが、他方耕作放棄地も多く獣害のもととなっています。又近年はソーラー発電のパネルがいたる所に造られ、災害の発生の原因になるかもと不安です。
岩村町	男・70才代	農地を守るためにも山林の手入れが必要で、今のままでは山がくずれ、大災害が心配される。
岩村町	男・70才代	地区の担い手の育成。組織の充実のため指導支援補助促進
岩村町	男・70才代	農機具が高いので採算が合わない
岩村町	男・70才代	直売所・JAに出荷で大規模にして地域特産の生産。輸入品で生活する様な事のない様にする。
岩村町	男・70才代	農産物の輸入禁止。農産物の価格保障。百姓を生きさぬ様殺さぬ様の政策はやめてもらいたい。農地を国一括管理すること。百姓を馬鹿にした農政はやめて。
岩村町	男・80才～	自分が就農当時(昭和30年頃)は米が1俵1万2千円、高卒初任給が4千円だったか。今はどうだ初任給は12万円米1俵1万2千円だ。個人が米を買って100aを作っても全然採算が取れない。若い者が百姓をやるわけがない。又営農組合も補助がなければ成り立たない。農業を維持し荒廃させないために農業政策を根本から見直してほしいです。
岩村町	男・80才～	高齢で農業に気持ちがあっても体がついていかない。
岩村町	男・80才～	恵那市として鳥獣対策を必要と思う。個人ではだめ。
岩村町	男・80才～	国の農産物の自給率を思う時、今日の政策が続く限り、後継者はいなくなると思います。やがて必ずくる食糧難の時代のことを考えた政策こそが必要ではないでしょうか。
岩村町	男・80才～	日本の農業は昔は政府と消費者で米価を決めた。今は世界と貿易に合わせて決めている。労働者の賃金に等しい米価にしてほしい。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
岩村町	男・80才～	現在の時代は複雑で精神的にまいっているので心のやすらかな安心して農業生活が出来る時代にしてほしいです。
岩村町	女・40才代	親から引き継いだ田畑を維持していますが、まわりの同年代は農業を引き継がず営農等に委託する家が増えました。農業は赤字にしかならないので「好き」でないとやれない仕事です。我が家では農業を義務と思わず楽しむこと、安全な食が食べられることのありがたさに恵まれていると思い作業しています。そんな若者が増えるといいですね。
岩村町	女・60才代	国の政策が変わらないことには農業を続ける事は無理。米の値段が安い為、田を作ることをやめた現在の人は農業経験者だが、次世代に次いでいかなければ作り方もわからない状態になり期待は出来ない。
岩村町	女・70才代	農業従事者が高齢となり、続けていくことが出来ない。若い人は百姓をやる気にもならず、でも今は営農組合という組織のおかげで請け負っていただけて有りがたいと思います。でも土地条件の悪い地域は受けてもらえず管理に困っています。
岩村町	女・70才代	岩村営農が今のまま作ってくれる事が続く体制をお願いします。田を返されたら困ります。管理も十分やってくれるので安心して田んぼを貸しています。
岩村町	女・70才代	米は生産してもマイナスになってしまう。機械は高価。以前のように二重価格制にして農業を守るようにしていかないと、地球環境にもよくない。
岩村町	女・70才代	現状を維持したいですが高齢者となつては何も出来ません
岩村町	女・70才代	現在後継者が私達の近所では百姓をやらない人が多い。どうか百姓をやるメリットがあるといい。
岩村町	女・70才代	ごくごく小規模の田を所有している者で、この様なアンケートに答えるのはばかられますが一応お出します。2人の男子が居りますが、2人とも未婚(50代と40代)3年前に夫が亡くなり田は営農組合に全面委託。畑はごく少し作り、後休耕田転用の畑は耕作放棄。荒地となっています
岩村町	女・80才～	去年の秋、畑1反2■道ぐろの良い所だが、あとやる人がないため不動産屋に売りました。田んぼはあります。
岩村町	女・80才～	営農組織内の責任者の気分次第で所有権者の風評妨害をしたり悪評をして営農依頼、妨害で遊休農地で大変に迷惑している現状である。JAにも相談したが前進なし。H27年H28年9/12に農林課連絡済は返答なし。H29年度水稲転作確認票に(ジコホゼンカンリ)文字記載で遊休農地の管理は解消不可。
山岡町	男・40才代	農業は机上ではわからない事が多い。同じ田でも毎年ちがう。特に恵那市は中山間地域が今の交付金の維持をしていただきたい。
山岡町	男・50才代	農業を振興するエリアと住宅化を進めるエリアをしっかりと区分して転入者が住宅を建てられるような土地も確保して行かないと人口減少により地域農業も衰退してしまうのでは。(生産性の悪い田の農振興は外すべき)
山岡町	男・50才代	高齢化が進み、担い手が見つからない(作業は老人ばかり)(中間管理機構)農協に相談したが条件が悪くやってもらえない。耕作放棄地が増えて、鳥獣(イノシシ、ヌートリア等)が増え作物が収穫できない。
山岡町	男・50才代	小規模な農家が多く生産性が低い。しかし農家ごとに自分で作付する人が多く、農地の改革が必要と考えます。米農家だけでは生計を立てる収入は見込めず新しい生産作りが必要と思っています。
山岡町	男・50才代	助成金とか補助とか国策とか時代遅れ!!自力でやるのか辞めるのかいずれか!!
山岡町	男・50才代	収穫を目前に鳥獣被害に合い収穫高の減少でやる気がなくなる。恵那市として営農組織の育成や鳥獣対策の充実、生産基盤の整備や耕作放棄地や遊休農地の解消などの対策の強化を望む。
山岡町	男・50才代	農業がビジネスとして成り立つ環境が必要。農地の保全を含めて兼業ではなく農業メインで生活してゆける人が増えるようにしていかねばならない。農地規制をもっとゆるくしないとだめ。
山岡町	男・60才代	年もしたら農業従事者が半減し、恵那市の農業生産も大きく落ち込むと思います。今よりもっと後継者育成を充実する必要があります。
山岡町	男・60才代	小さな(小規模)営農組合では効率がよくないので山岡町で1つの営農組合にする方法は考えられないでしょうか。(愛知県日進市で実施されている様です)
山岡町	男・60才代	農家の所得向上のため生産技術や消費拡大の施策を展開して頂きたい。
山岡町	男・60才代	米価が安すぎて機械・生産用資材が高すぎるのが問題だと思います。
山岡町	男・60才代	企業等の誘致

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
山岡町	男・60才代	強い者勝ちの世の中で、弱い者は切り捨てられるだけ。
山岡町	男・60才代	10年後の事を思うと心配だが今はとにかく維持管理だけで大変です。
山岡町	男・60才代	行政に10年先を考える人がいない。今現在の事しか考えていない。大変無責任で給料ドロボウです。
山岡町	男・60才代	国が農産物の国内生産UPを計り、輸入に頼らず供給出来る様法律に依り、100年先でも安心して農業に従事できる様努める事が日本国の為に成ると思います。他の仕事でも「ホワイトカラー」だけ大事にして居ては国が滅亡してしまいます。
山岡町	男・70才代	山岡に住んでいる者として新しい市長さんになってからやっと恵那市になって良かったと思える様になりました。恵那市の南西の玄関として限らない魅力がまだまだであると自負しています。東濃の恵那市でなく東海地方の恵那という底力があります。退職後山岡に帰ってくる予定の長男が恵那市市報を持っていったりして動き始めた恵那市に感謝している様子です。素晴らしい山岡診療所になりました。ありがとうございました。これからもお願いいたします。
山岡町	男・70才代	農振地域の見直しによって優良農地のみとし、谷間等条件不利の耕地は除外すべきである。除外に際し難しい書類の提出は不用とすること。農振地域内の雑種地の手入れがなされず優良農地に影響のある個所が散見されるので、指導により雑種地の適正な管理の徹底を願う。農業委員の役割を再認識し連携によって優良農地の確保持続に努め不動産屋の不在地主への農地あっせんを強力に止めてほしい。農業委員の不動産屋の手先と思われる行動が最近目立つ。(書類が整っていれば承認されるケースが多い)小農も地域農業(地産地消)には大切な戦力と考えて行政を!
山岡町	男・70才代	暗渠排水補助事業
山岡町	男・70才代	鳥獣害の被害が多く(特にいのしし、しか)せつかく作ってもやられてしまう。電さく等、設置の際どれだけか補助してもらえると有難い。
山岡町	男・70才代	とにかく米の単価が安い。米を食べない。
山岡町	男・70才代	イノシシの被害が多い
山岡町	男・70才代	野菜等の品目と市場単価と原価が合わないから、生活が出来ないから休めて行く方に進む。自家消費のみになる。山林、材木、田、米価が安い。(人手が入らない事による。休む家が多くなる上災害が多くなる。イノシシの害が出る。)
山岡町	男・70才代	市内とは云っても山間地の為に農地を整備はして有りますが、作物の生産が不良で思うようにとれないのでためです。有害鳥獣対策が大変です。
山岡町	男・70才代	米農家です。小中学校の昼食には安心安全で美味しいお米を利用して欲しいものだ(地産地消から)
山岡町	男・70才代	経済面の安定が必須であるので日本各地の農業と比較した時の優位性(ブランドバリュー)ある産業開発を長期に渡って取り組む事が必要だと思います。〇〇をイメージしたら必ず恵那になる・・・様なもの。(追)水稲・転作確認票の記入提出回数(春先から2~3回)が多いと思います。もう少し減らしたら如何ですか?経費削減にもなるのでは?
山岡町	男・70才代	現在農業をしても赤字ばかりで、農協は自分のことだけで、農業者の事など少しも考えていない様な気がする。農協は一般商店とくらべて物品が高く買物をする事が出来ない。
山岡町	男・80才~	JA■組合■■取組■■出来るか
山岡町	男・80才~	食糧があり余る時代に農業は成り立たぬ。農業は健康と趣味のためにやること。
山岡町	男・80才~	営農組合は委託しても管理費を請求される。これでは荒らしておいた方が良く、そういう考えで荒地が増えている。農地の有効活用を考えるべき。問24で答えた団体での活動・活用、農地の借り上げ。50aの農家が今後機械を更新してまで米を作るバカはいなくなる。採算がまったく合わない。今でも買って食べた方が安い。耕作の利点は田を荒らされないのと。うまい米が食べられる事。他は無い。
山岡町	男・80才~	これほど有害鳥獣が増えては農業も大変です。
山岡町	男・80才~	後継者問題は大きな事だと思っています。耕作をしてもらいたいの是我々年寄りから見れば当然ではないかと思えます。親に孝行を尽くせ、一家のために働けと教育を受け、200年近く家の土地山林を守って来ました。後継者は居ますがたまにはやってはくれますが、あくまでお手伝いの感は否めず、話しても時代だからと採算が合わない、重労働だからと気乗りはしない様です。しかし土地を守ってきた自負はあり、家のまわりに土地があるから値打ちだと聞かせているのですが中々わかってもらえず、かくなる上は売ることはダメだ。雑草は仕方ないが雑木が生えて来る迄放っておかない様出来なければシルバーさんに頼んでもと願おうと思っています。稲田もいつまで営農組合が耕作してくれるかわからず、まだ先はどうなるかわかりません。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
山岡町	男・80才～	有害鳥獣の駆除
山岡町	女・60才代	有害鳥獣対策の方をもっとしっかりやってほしい
山岡町	女・60才代	山岡の他の地区では、けもの、猪、鹿、うさぎ、ハクビシンなど猟友会がやっていますが、恵那の支所に行っても、山岡の猟友会がやるだろうと行ってしかられました。山岡の猟友会の人に話しましたが、猪のオリが重たくて2人では持てないと。結局なにも。おかげで猪が田、畑、道を荒らしています。家の庭裏にも来ます。
山岡町	女・70才代	農業の後継者不在で、耕作放棄地が年々目立つようになりました。わが家でも休耕田の草刈に年中振り回されている状態です。シルバーさんを頼むのも広大な面積で金銭的にも限界です。書類上はある会社に貸付けていることになっていますが、手が回らないのかわが家の田は何も利用できていません。営農組織を確立し、適正に活用できることを強く願います。
山岡町	女・70才代	特に山岡町は若者が働く場所がありません。都会へと行きます。工場を誘致する事だと思えます。日曜日祝日等利用して農業をするようにすれば婚活等の支援等一生懸命やれば人口も増えると思えます。
山岡町	女・70才代	営農組合の運営その他。知らない内に色々進められており、肥料の重複等とても困りました。機械化で田植時に肥料を入れ、知らないのでも家でも田植前に肥料を入れてしまい、後から二色も肥料を入れることになり調整しました。もう少し連絡があってもいいのではないのでしょうか？
山岡町	女・80才～	充分なお返事出来なくて残念です。
山岡町	女・80才～	農業は誰でもできる感覚があり、あまり国からの保証がない。農業従事者は若手育成し国家資格を取得できるような将来的な計画は必要
山岡町	女・80才～	(1)若い人達が学校を出て大きな市の方に勤めてしまう。(2)若い方に結婚して子供を多く生んでもらう。
明智町	男・50才代	とにかく1日でも早く農地を売却したい。今、不動産屋にたのんでいるが一向に買い手が見つからず悩んでいる
明智町	男・50才代	営農組合で作ってもらっていますが、その利益がどのくらいあるかわからない(1反ほど)。経費だけ(アゼシート代などと人件費)請求されるのはおかしい。利益から払うのが普通と思うが納得いかない。
明智町	男・50才代	JAS認定の出来る農家を増やすこと。世界に通用出来る農産物を作ることが農業が残れるのではと思います。地域を見渡しても70～90代の方が農業をされており40代～50代の子供は農業に見切りをつけてしまっている。農薬化学肥料の農業は行き先がなくなってしまっている様に思う。
明智町	男・60才代	問23・24についてはよく解りません。只農地を維持して農業を守るつもりなら、個人・個人の土地という考えはもう成り立ちません。地域をひとまとめにして耕地整理をやり直して、経営する個人があれば個人で、法人組織にして経営をするか、どちらかの方法でないと耕地・地域は守れないと思います。そのための補助や手助けは必要だと思います。
明智町	男・60才代	米作りをしても苗代、肥料代、除草薬代、田耕起、田植え、刈取り等の委託費など計算するとマイナス経営になってしまうことが大きな問題である。ある家では米作りはしなく年間何回か草刈り作業を委託している。(原野にしないためであるが、むなしさを感じる。)市街地であれば宅地転換がどんどん進むが山間地であれば土地の買手もない。今後原野化が進むのではないかと心配している。
明智町	男・60才代	JA・行政など少子高齢化の急激な進展を見据え新規就農者の育成。農業を推進する地域のリーダーの育成など積極的に進めてほしい。10年先を考えると現状維持は難しいように思えます。農地の荒廃が進まないようすばやい対応策の提案をお願いします。
明智町	男・60才代	営農組合のため解答がしにくい。
明智町	男・60才代	父親がやめてから15年ほど耕作していない。
明智町	男・60才代	5年先10年先集落で農業を続けている人が何人いるか不安。自分もわからない。営農組合を立ち上げて集団で経営するようにしたい。
明智町	男・70才代	田、畑の肥料農薬の価格が高いです。安価で効果の高いものがほしい。
明智町	男・70才代	JAに農作業と農地を委託したい
明智町	男・70才代	ほとんど貸地ですのでよくわからない
明智町	男・70才代	有害鳥獣の対策等市をあげて取り組んでもらうことが出来るといいと思います。ますます過疎につながり住む人もいない。そんな村になりそうでこわいです。
明智町	男・70才代	魅力ある農業を推進する為、農業所得向上対策必要。
明智町	男・70才代	年金をつぎこんでの米作りです。60kg/俵、何万円も使う米作り農業、なんの魅力もありません。若者にやれとは言えません。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
明智町	男・70才代	農業は生産したら販売直販の拡大して採算が合う様にしないと、作れば作るほど赤字になっていく！！
明智町	男・70才代	高齢化による農業の継続は中々苦しく成りつつ有る。後継者に引きついても次第に耕地を減らす事は明白で耕作放棄は向かうだろう。
明智町	男・70才代	問20関係。地産地消の推進の実施要綱を知らせてほしい。(公開)
明智町	男・70才代	機械が使用出来なくて人力作業にて。田んぼの耕地整理が出来なくて。高齢化になってあと何年出来るかわからない。
明智町	男・70才代	自分も後期高齢者で後継者もないが、近所の親戚の家が空家となり田畑荒れ放題である。近隣に迷惑だから草を刈れと言われ、10年近く続けているが、ただ草を刈るだけ(約20a分)でも大変である。地域からの援助もお金の補助もない。今後この分に加えて自分の田畑の管理の方法が無い。
明智町	男・80才～	猪の被害多く困っている
明智町	男・80才～	農地の地目変更を。耕作放棄地遊休農地を別の利用出来る様に行政で集めると良い。(荒地が少なくなり利用度もあると考える。
明智町	男・80才～	畑は売りたい。買い手がない。田は委託に出しているが、個人なのでいつまでたのめるか心配
明智町	男・80才～	土地■■■をしているので。あまり書くことがない。
明智町	男・80才～	若人の生産意欲向上を願う
明智町	男・80才～	今後農業(米の生産)をしていくには米価は下がるばかり一方現在1俵約12000。機械、肥料は上がる一方でこれでは子供に農業をやれとは言えません。現在維持していくために年金を入れるような農業は、もう限界です。
明智町	男・80才～	高齢化で手が廻らず耕作地が減ってしまう、子供は現金を手にしないと生活ができないので休みなしに働くことはむづかしい。農業チームを作って順廻しながら作業をするようなものを考えてほしいと思う。
明智町	男・80才～	国の段階で農業そのこと自体を考えてもらいたい。
明智町	男・80才～	耕作地は洞地小面積で農機具の使用が困難で且イノシシ害で側溝を破壊され泥濘化しており耕作引き受け手がありません。
明智町	男・80才～	農地荒れ、国滅びる。自分で狩りをせず、獲物を横取りするハイエナ政治家の日本だから
明智町	女・60才代	明智の若い人の会を作ってみては。木とか花を植えて町をすてきに。空家のカーテンを考えて。
明智町	女・70才代	年金生活者の1人暮らし。年々体力も衰える中での農業は不安ばかりです。夏の暑い中での作業は身にこたえました。何とかしたいです。
明智町	女・80才～	独居老人が増えていく。自家用野菜づくりがやっとの集落。草刈り場が家の周りに広いと、草刈り代で年金が減ってしまう。後継者は望まない。大学出たらこんな山間でくらすべきでない。
串原	男・50才代	消費地と別に■■■の考え
串原	男・50才代	農業で所得が安定して確保出来る事が一番大切。新規参入した方でもノウハウを指導する人がいれば良い。指導者の確保も重要。
串原	男・60才代	営農組合等に委託しても料金的に採算があわず(米作など)農業をやれば年金をつぎ込むだけでやめた方が楽だと思う。(経済・肉体両方)米作などその最たるものではないか？
串原	男・60才代	山間地域の農地は将来住み分け(優良農地と周辺農地)を明確にし非農地化も進める必要がある。営農組合等への助成を充実させ機械化による効率のよい農作業を推進する。
串原	男・60才代	有害鳥獣対策が急務と思います。
串原	男・60才代	耕作放棄地への太陽光パネルの設置が目立つようになり、設置業者も積極的に宣伝しています。このことが更に耕作放棄を促進し、里山の景観を損ねることにより、農業の魅力を低下させてしまいます。鳥獣対策と同等の重要度の問題と思います。
串原	男・70才代	生活基盤の良い場所のみ行方。草刈り等作業がほぼない状態にする。
串原	男・70才代	中山間地に於いて農地を守る事は至難の業である事に目を開いていただき、平地と違った土地の改善等に協力される事を望みます。
串原	男・80才～	土地の担保を取って頂きたい。土地には金の貸借は付いて居ません。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
串原	男・80才～	部落の人が高齢で60%以上が5年以内に農業が出来なくなると考えられます。早急な対策が必要。
串原	男・80才～	住んでいる所の土地の条件も悪く、とても農産物等を作っても、手間ばかりかかって安定した生活も成り立たず、後継者は外へ出てしまう。
串原	女・40才代	農業だけで生計を立てる事は難しい時代だと思います。小規模でも耕作ができて田畑を有効活用できる様に農地法の見直しが必要だと思います。
串原	女・70才代	後継者問題を考えると不安ですが今は元気で働いているので、できる限り田畑を守っていきたくと思っています。
串原	女・80才～	県道上、家のまわり土地(デンキアミ張ってある)
串原	女・80才～	高齢だから出来なくなった。安気に暮らすには営農組合さんにまかせて、やって下さるのが頼みです。田畑は大きくなっております。福原
上矢作町	男・50才代	耕作放棄地になっている農業振興地の見直しが必要なのでは？
上矢作町	男・50才代	ニシマチ173-1(12.3a)田を上矢作営農組合に委託した
上矢作町	男・60才代	個々の農家が個別に販売を考える時、農家の能力の差が収入に直結してしまうと農家の数を増やすことにつながらない可能性がある。農家の大小にかかわらず農家になれることが必要なのではないか。農作物を販売する拠点作りがそれを可能にするのでは。センターは地域の未来を描く所ではなくてはならない。
上矢作町	男・60才代	自宅から1時間程度で通える働く場所の確保。紹介。中山間地では専業農家で経営は不可能です。細切れの補助金はいりません。大規模化もむりです。農業以外で生活を成り立たせ生活の質を高めるために自家農業を行うのが一番この地域で豊かな生活を手に入れる方法だと思います。営農組合も高齢化と労働不足でゆきずまると思います。大規模化が全てではないと思います。
上矢作町	男・60才代	野菜で食べていこうと思うと年数がかかる。借金して黒字になるのにどれだけかかるのだろう。もっと地域が活性化するようにするのいいと思う。働くことや、人がいなくなるから、恵那市内まで出ないと食生活できない。過疎化まっしぐらになっている。
上矢作町	男・60才代	食の安全や農林業を守るために米の買取り価格を引き上げ稲作農家で生活できるようにする。輸入米、材木はやめ国内にあるものを活用する。地産地消を日本国内で行ない農林業者が生活できる施策にかえることが地域を守ることにつながる。後継者不足、過疎化対策。全てに通じる。
上矢作町	男・60才代	鳥獣対策
上矢作町	男・70才代	中山間直接支払交付金制度の説明を代表者のみでなく関係者全体に内容を説明してほしい。
上矢作町	男・70才代	中山間地の集落維持は並大抵のことでできない。市の農業政策に関する皆さんなら国の言うような「農業に未来がある」ということを本当に納得できるのでしょうか。一部の意欲のある人たちが集約農業をすればそれは可能と思います。しかし大部分の集落住民は消滅していくことを意味しています。集落は落ち着いて集まれる。すなわち安心して暮らせる地域だと思います。それは暮らせるだけの収入が確保できなければならないということです。関係者が政策の受け売りがベストとならないような(それはその場しのぎになる)人間集団になられることを強く望んでいます。
上矢作町	男・70才代	後継者に結婚していない人が多い、その対策を。働く場所が少ないから。地元で店がなくなり不便。Uターン者が少ない。
上矢作町	男・70才代	有害鳥獣対策の充実
上矢作町	男・80才～	農振法に依る法律は規模の小さいいわゆる零細農業の切捨てと思う。2反百姓では米価は安い。機械や肥料は高く採算の取れるものではない。昔の人間は百姓をやり続けているので何とか持続しているが、将来は百姓をやる若者は極度に減ると思う。国の施策を一考願いたい。
上矢作町	男・80才～	老後の生活設計の一環として先は短くても今、今日が満足である事を前提にして農業をやろうと考えている訳だが、一番のネックとなっている有害鳥獣対策がしっかり確保されない以上は中山間地の農業は成り立たない状況です。オーバーな言い様ですが、猿害・イノシシの被害は深刻です。とくに栗園は先行き見通しは駄目です。
上矢作町	男・80才～	上矢作町のように山村という形態の農村はどうしても山の活用なしに生きることはむづかしい。山村の活用も併せて農を考えていくべきではないか。
上矢作町	男・80才～	中学校もなくなるようなところにUターンなどさせられない。

町名	性別・年齢	「そのほかの意見」自由記述欄
上矢作町	男・80才～	農林業が落ち込んでいる。これを元に戻さなければ恵那地方の発展は望めないと思う。
上矢作町	女・60才代	鳥獣被害あり。水田をやめ柿の木栗の木を植え2年目。又鳥獣被害あると思いますが、子孫が秋になれば集まり栗を拾い柿をもぐと思い植えたのです。まだこれからブルーベリー・ポポーを植えていく予定です。
上矢作町	女・70才代	1人暮らしの70代の女性です。子供はいますが後継はせず県外で生活しており、農業は私で終りです。
上矢作町	女・70才代	私は1人なので今は田んぼはそばの農家さんに貸してあり、畑はほとんどの事は自分でできているので1人でやっている。量は少し多めにとれるけど、今はもらってくれる人がいるので作っているが私が自分で出来ないようになれば作るのをできる範囲に少なくして作っていきたいと思っています。今は健康のために作っています。おかげで病院に行く事もなく毎日元気で暮らしています。畑をやることは私の生きがいであると思っています。
上矢作町	女・70才代	有害鳥獣駆除などに力を入れてほしいです。
上矢作町	女・70才代	大勢いる時は田んぼ畑など全部やっていたが、今は私だけ。仕方ありません。今は営農さんに頼んでいます。(田んぼ4反、畑1反)
上矢作町	女・80才～	子供とは別に生活しているから、私も82才になろうとしていますから、この先何年出来るかわからない。
恵那市外	男・50才代	限界集落の農業は自分自身もそうですが継続が困難です。現在幸いにも田を借りて下さっている方がいるため、特に問題ありませんが、その方が農業ができなくなった時を思うと不安です。耕作放棄して草だらけにしておくと、田を作っている方には迷惑となるのが今から心配である。
恵那市外	男・50才代	現在は他市に住んでいて、実家の土地等を活用できません。
恵那市外	男・60才代	生活基盤が恵那から離れ農地(田)を営農組合に委託しています。委託制度の安定と継続のために以下のような施策を検討されてはどうでしょうか。委託者と委託先(営農組合)との交流拡大。農業イベントや田植え稲刈りなでの委託者の参加。生産者の委託者による直接購入(ふるさと納税的な)以上、農業振興の一助となれば。
恵那市外	男・60才代	恵那市住人でない
恵那市外	男・60才代	愛知県より岐阜県に出向き農作業を定年退職後より行っています。ただ農作業も半信半疑で行っています。農作業の勉強会とか指導を受ける窓口の所が欲しいです。
恵那市外	男・70才代	先祖様からの田畑をあずかっている。仕事のため市外に住んでそのまま過ぎていますが、退職後時間の余裕ができたので「通い農業」をしている。野菜を作り自家消費している。水田は親戚にまかせている。農業で生計を立てるほどの農地面積もないので子供や孫に後継させることはできない。この先どうしていけばいいか結論は出せないままになっている。
恵那市外	女・40才代	土地を貸している人とトラブルになっていて対応に疲れました。名古屋に住んでいて、子供も小学生2人、介護の仕事もしていて、実家に通って掃除はしていますが耕作まではできません。草がはえるので管理も負担になっています。作ってもらえる方がいたら作ってもらいたいです。
恵那市外	女・80才～	水田耕作は委託中
不明	不明・不明	農地やる人がない